



ママはママポケモン!?

~ポケモンに優しすぎる少女~



荒ぶるポケモンを...

えっちで慰める!



Story pages & Textless **212 Pages**



フニゅん!

フニゅん!

ロトッー!!

今日もポケモン
保護活動だよー!!



迷子になつてるポケモンは
居ないかな〜



街中を行く少女の姿が一人。
彼女の名は「リコ」

顔つきや立ち振る舞いなど、
まだあどけなさの残るが、その体は
少女と名乗るにはあまりにも性的。

野性のポケモンのエンカウント率を上げる
「とくせい：ノーガード」か、
異性を引く付ける「とくせい：メロメロボディ」か。

どちらにしる、周囲の男たちの視線を
独り占めするほどに、少女は魅力的だ。



リコ

ぼせいポケモン

当初は一人前のポケモントレーナーを目指していたが、ポケモンと接するうちに彼らに対する庇護欲に目覚めた。今ではトレーナーではなく、ポケモンを保護するリーダーとして一人前になるべくポケモンスクールに通い日々精進に励んでいる。

※リコが通うポケモンスクールは、エーテル財団によって運営されている。エーテル財団は、「ポケモンの保護」を第一とする慈善団体。最近、急激な発育によって体重が10kg近く増えた。




高さ
138.2cm

重さ
33.3kg⇒42.8kg


スリーサイズ
B106.1cm W52.5cm H118.2cm

+ 生息地 A 動きをみる B もどる




それにしてもこの制服
本当に便利だね〜

成長期の私の身体にも
いつでもピッタリだもん♪



リコが今着ている服、一見何の変哲もない普段着だが、
この衣装には、ある特殊な能力がある。

その能力のおかげで、唐突に発育着しい
リコの体にもピッタリなサイズ。



そもそも、「制服」というには
私服にしか見えないデザインだが、

それもその能力によるもの。



この制服じゃなかったら
すぐサイズが合わなくなっちゃうもんね〜

成長期って本当お金がかかっちゃうよね

リコの発育は本当に
ただの成長期なのだろうか？

本人はそう思っているが、
すでに成人女性顔負けのグラマラス体型。

発育の良さは個人差があるとはいえ、
リコのそれは「発育が良い」というレベルではない。

この「バグ」ともいえるような発育には訳があった。

마마마!



「緊急ニュース」ロト!

お?!

新型ポケルス、通称《ボテルス》に
感染したポケモンが近辺で増加傾向。

ボテルス研究の専門家、ピツケさんによると
ウルトラビーストが《ボテルス》の根源ではないか…

緊急ロト…


《ボテルス》かあ

人間の女性も感染した
事例があるって聞いたことあるから…
ちよっと怖いかも…

心配する必要ないロト！
人間への感染事例は数えるほどロト！

感染した症状は、体の急激な発育ロト！
これは特に成長期の少女に見られる症状ロト！





お尻も骨盤が急成長して、出産に耐え得る
年齢不相応な安産型になるロト！

肉付きも良くなって、体重も一気に増えるけど、
決して肥満ではないロト！



おまじな



そして、なによりも！
ポテルスは人間に感染した人間は…

ポケモンとの繁殖が
可能になるロト！

おまじな

心当たりがあるロト？

う……うん……！
な……なんでもないよ！

もしかして私の体…

バグとも言えるリコの発育速度、
それは、どう考えても《ポテルス》が原因だ！

ポテルスは、リコのような
トレーナーやブリーダーになる許可が
やっと下りる年頃の少女であつても、
繁殖に適した母体へと急成長させてしまう。

ブリーダーを目指すリコ。
未だ穢れを知らない彼女の体は、
繁殖に適した母体へと進化していた。

A comic panel featuring a young woman with dark hair and blue eyes, wearing a white top, dark shorts, and a blue cape. She has a surprised expression. A large speech bubble on the left contains Japanese text. A smaller speech bubble on the right contains more Japanese text. A small red character with a flame-like top is also present.

あっちの路地裏のほうから聞えた口ト!

なに!?
今の声…!





誰か...助けて...

ウネ...

ウネッ



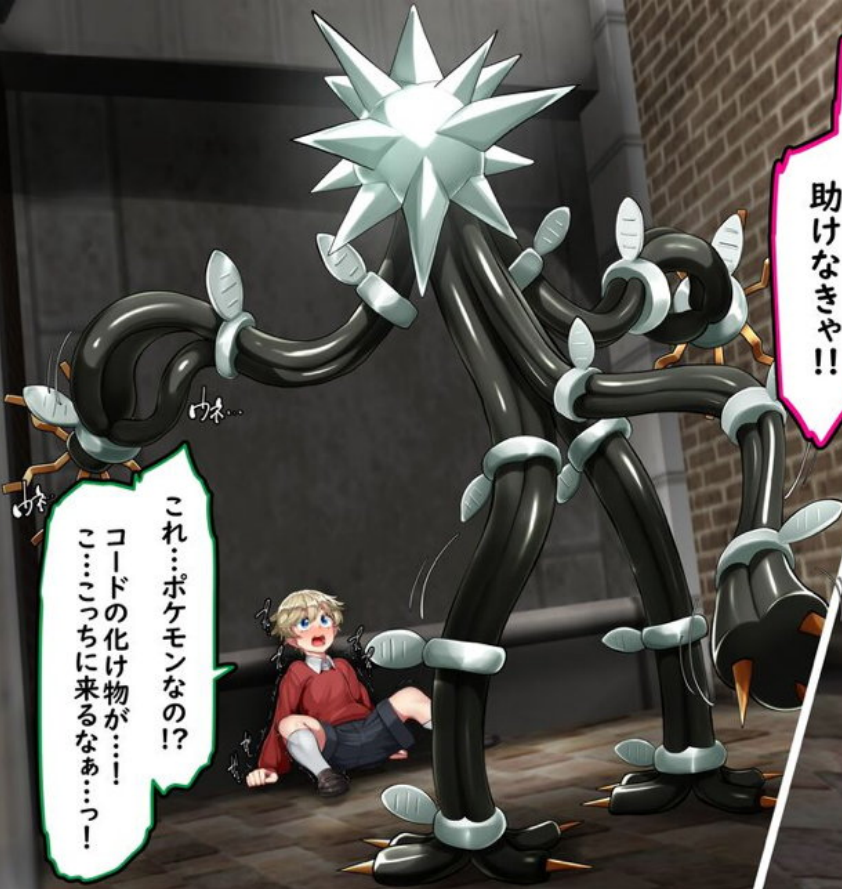
デンジュモク!?

あれは……!!



はあ、はあ

はあ、



これ…ポケモンなの!?
コードの化け物が…!!
こ…こっちに来るなあ…っ!

あの子が危ない!
助けなきゃ!!



「ウルトラビースト」ロト!





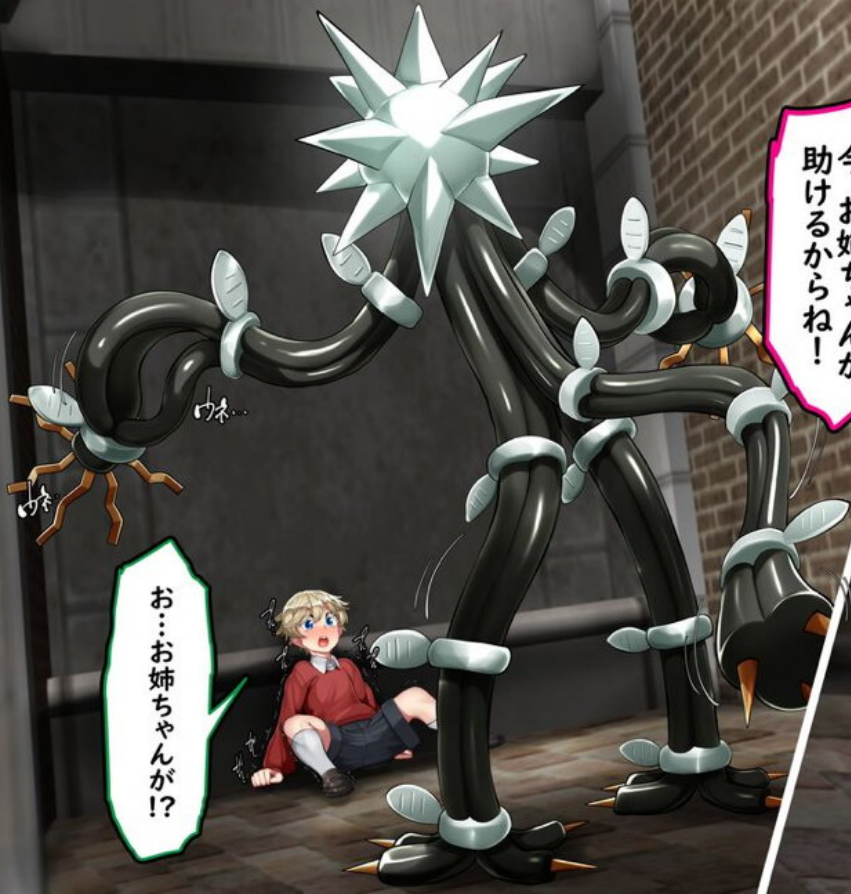
全長にして4mに届きうる巨体、
電気ケーブルを束ねたかの様な奇怪な容姿、
この世のポケモンとは明らかに、
生物としての方向性が異なる出で立ち。

このポケモンの名は、「**デンジュモク**」
ウルトラベースト
UB と呼ばれる 別世界 からやってきたポケモンだ。

しかし、彼らは意図的に
こちらの世界にやって来たのではない。

事故でこちらの世界とウルトラベーストが
通じる 穴 が開いてしまい、
そこから意図せず流れ着いてしまうのだ。





お...お姉ちゃんか!?

僕!
今お姉ちゃんが
助けるからね!



なんでUBは
人を襲うの!?

もし自分が全く知らない
世界に投げ出されたらどうだろうか？

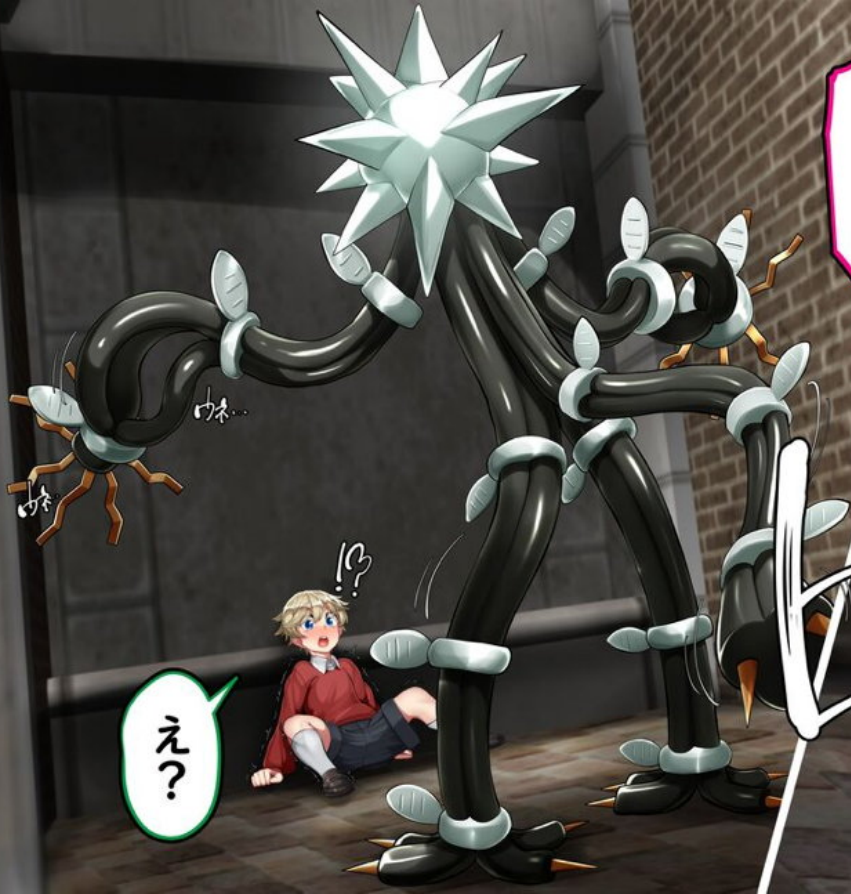
きっと混乱し慌てふためくだろう。
そして、まずは身の安全を確認するに違いない。



それは、デンジユモク彼らも同じだ。

突然、わけもわからない世界に飛ばされ、
身の安全を確保するため、
自衛のために攻撃的になっているのだ。





え?

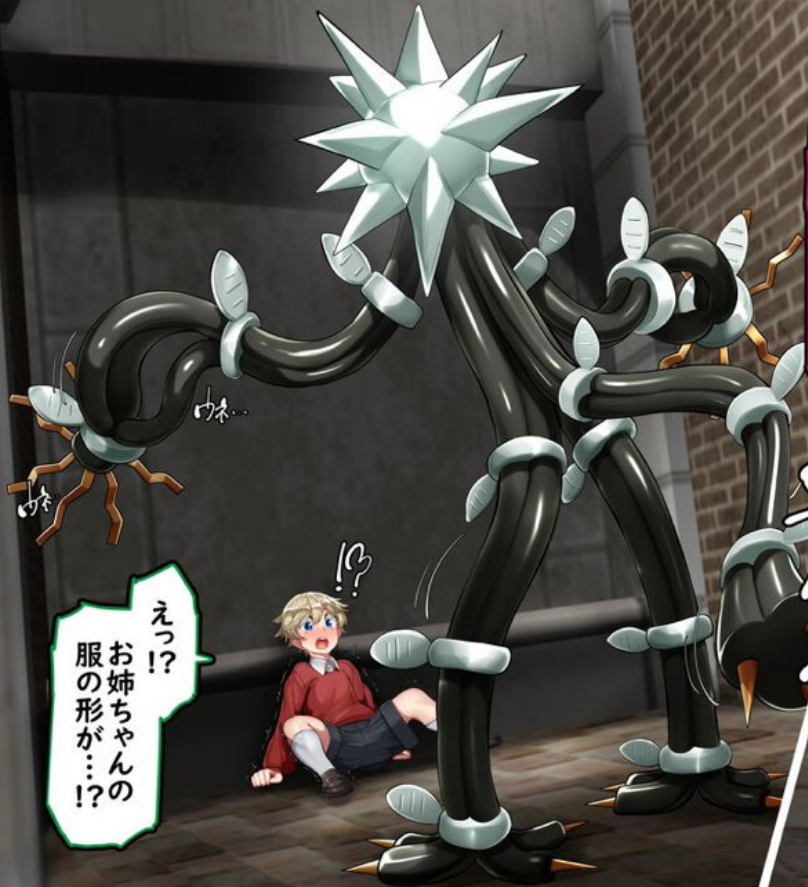


変身っ!



そして今こそ、
この制服の能力の
使いどころだ!

カッ
カッ



メタモンスーツ!
私に力を貸して!

ア
ユ
イ
イ
イ

えっ!?
お姉ちゃんの
服の形が...!?



その名も「メタモンスーツ」
メタモンのように自由自在に
形を変えることができる。

それがこの姿だ！

変身完了！

リコ！
ブリードモード！！

お姉ちゃんが…
変身した!?



変身したりコの姿は、衣装が胸やお尻に張り付くように装着されたボディスーツ形。

リコの豊満なボディラインがクッキリと浮き出る上に、光沢のあるツヤや、女体の凹凸を強調する柄。



それは、裸よりも自分を曝け出す姿だった。

つまり、「自分に敵意は無い」と視覚からデンジュモクに訴えかける作戦だ。

リコが助けるのは少年だけではない、デンジュモクも助ける対象だ。

我を忘れ、荒ぶるポケモンを鎮めるには、我々に敵意は無いと伝えるのが一番だ！

誰よりも優しい、リコだからこそできる判断である。






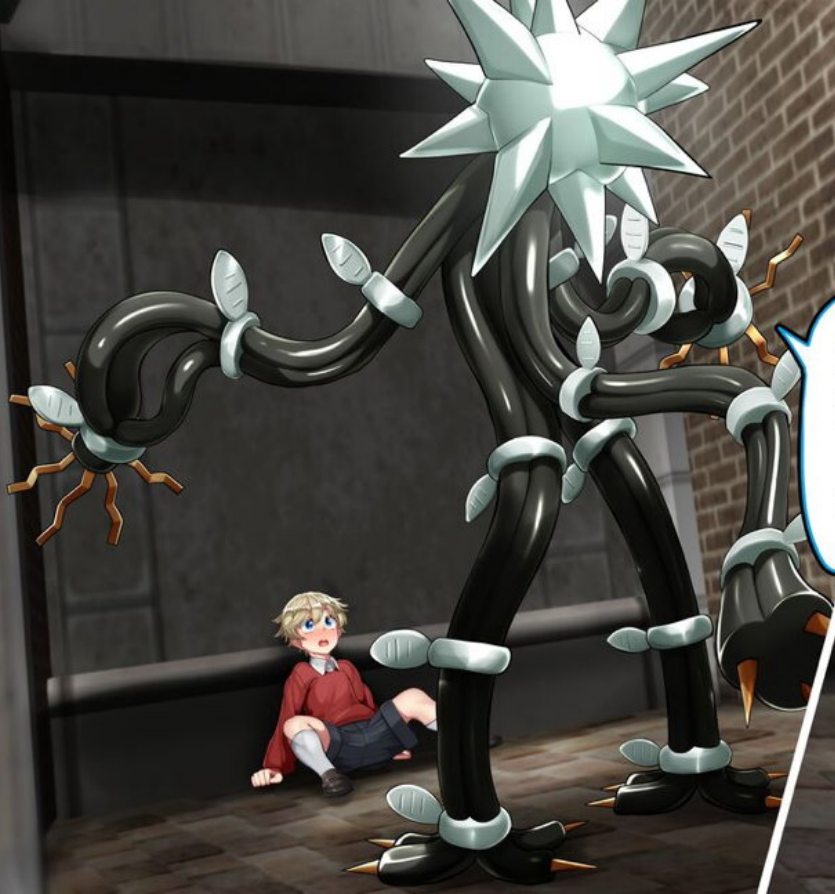
デデン?

まるで迷子の子に語り
掛ける様な優しい口調のリコ。

まずは少年に向いている
意識をこちらに向ける。

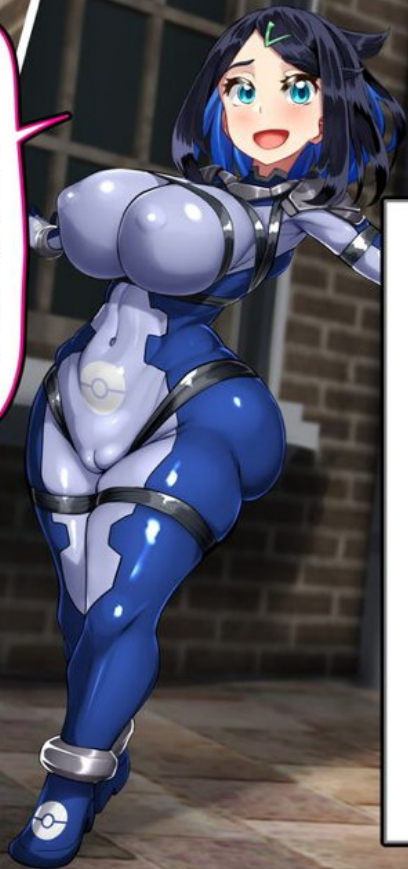


デンジユモク 怖がらないで
私が一緒にキミが帰る
場所を探してあげるからね？



そう その子から離れて
こっちにきて

デンシヨック？



デンジユモクが振り向く、
無機質な顔だがこちらに向いているようだ。
表情は読み取れないが、興味の対象を
少年からリコに変えることには一先ず成功だ。





デンジュモク これは
ポケモンバトルじゃないよ！

私は絶対にキミを
傷つけたりしないよ！



デンジュモクから見たリコの姿。

それはデンジュモクにとって
興味以上の対象であった。



自分はこの世界にきて生命の危機を感じている。

そこで出会った自分に好意的な異性^{繁殖相手}なのだから。



デンシヨック!

おねえちゃん!

えっ!?

きゃあっ!?





捕まっちゃった…!?

ダメだ…この子…
デンジモウ
怖がつてる…

私を敵だと思ってるんだ…

この子から恐怖心を
取り除かないと…
安心させてあげないと!

たん、たん、






それに…
こっちの子も

僕 大丈夫…？

え…？
あ…はい…

!!!



少年は見た。胸を垂れ揺らしながらも
笑顔で自分の事を心配するリコの姿を。

身体に食い込むデンジユモクの触腕が、
元々むっちりしていた女体を強調している。

思わず、少年の中で
何かが目覚めそうになる。

これが…
女の人の…体…

僕
ごめんね…
助けてあげたいんだけど
おねえちゃん動けないんだ

だから一人で
帰れるかな？

あ…あの…
ごめんなさい…
足が動かなくて…

怖くて腰が
抜けちゃったか…

♡
♡
♡
♡
♡
♡

じゃあこの子を守りながら
デンジユモクを落ち着かせるのが
私の役目かあ…

ロトロトロト!

ボクに何かできないロト?

大丈夫だよロトム
この子を傷つけたくないから
そこで見てて!



デンシヨック!!

ウネ...

!?



おねえちゃん!

デンジュモクの股から
何か生えてるよ!!

え!?



自分からは死角。

デンジユモクは、メスのみに有効な
武器を取り出していた！

ウネ...

ウネ
ウネ
ウネ



ロトロトロト!!

デンジユモクのペニスロト!
リコ危ないロト!

えーっ

ペニスって...
おちんちん!?

?

おちんちん...?
なんで...?



警告を発するスマホロトム。
これから自分に何が起るのか、
なんとなく察っしてしまいうりこ。

性知識が皆無なため、
わけがわからない少年。

デンシヨック！

デンシヨック
コイツ、リコに発情してるロト！
犯されちゃうロト！

えーっ！？

そんな重大な事
急に言われても！

え？何が
起こってるの？

三者三様。しかし、三者とも
共通しているには混乱していることだ。

うん


うごめく触手が一本に束ねられ、人間の男性器に近い形となる。

全高4m、弱のデンジモクの生殖器、それが人間サイズなはずがない。



マルメインサイズのキントマがぶら下がり、そこから先端まで1mは優にありそうな超根。

しかも長いだけではない、太さもリコのムチムチな太ももと変わらない。



とても人のメスに入れるモノではないが、
デンジュモクに躊躇は無かった。





え!? なに
この大きさ!!

うわ
うわ!!



コイツ挿入る気ロト!

ひい...っ!?



根元までは、さすがに入らなかつたが、デンジユモクは己の分身をリコの体内に限界までねじ込む。

きっと、リコの体はメタモンスーツが無かったら腹が裂けていただろう。

《メタモンスーツ》は着ている者にも一定の変身能力を付与する。

リコの体が本来規格外の性器の挿入に耐えられるのは、スーツの恩恵だ。

そう、リコの体は今。

デンジュモクとの交尾に最も
適した形に《へんしん》しているのだ！



リコ！
大丈夫ロト！？

い…痛くない！？
むしろ気持ちいい！？

あ…ああ…
おねえちゃんのお腹が…！

これが…ポケモンの…
デンジュモクの…おちんちん！



初めての挿入、しかし破瓜の痛みは無かった。
これもメタモンスーツの恩恵なのか、あるのは快樂だけ。

だ…大丈夫だよ…
お姉ちゃんは強いから…!

それに…これから始まることは
怖いことじゃないからね…?

え…?

本心では今すぐにも快樂に表情を歪ませたいが、
何も知らない少年を怖がらせないため、
リコは精いっぱい笑顔を作る。





Σ...?!

押しつぶす



怖いよ…
お姉ちゃん…

ひひひ
ひひひ
ひひひ

1mの往復、とてつもなく長いストローク。

何も知らない少年の目の前で起こる惨劇。



少年は何もわからない。

なぜデンジモクが性器を
リコの体内に入れ入れているのか。



なぜリコがそれに
合わせて喘いでいるのか。

わからないが故に恐怖した。



はあ…はあ…

僕ごめんね？
でもお姉ちゃんは
大丈夫だからね？
少し…我慢できるかな？

う…うん！

わがっだ…

お姉ちゃんも頑張ってるもん
僕もがんばるよ！





よしよし♡♡
えらいぞ♡♡

Famma!!



デンシヨ~~~~ック...

ロトト?

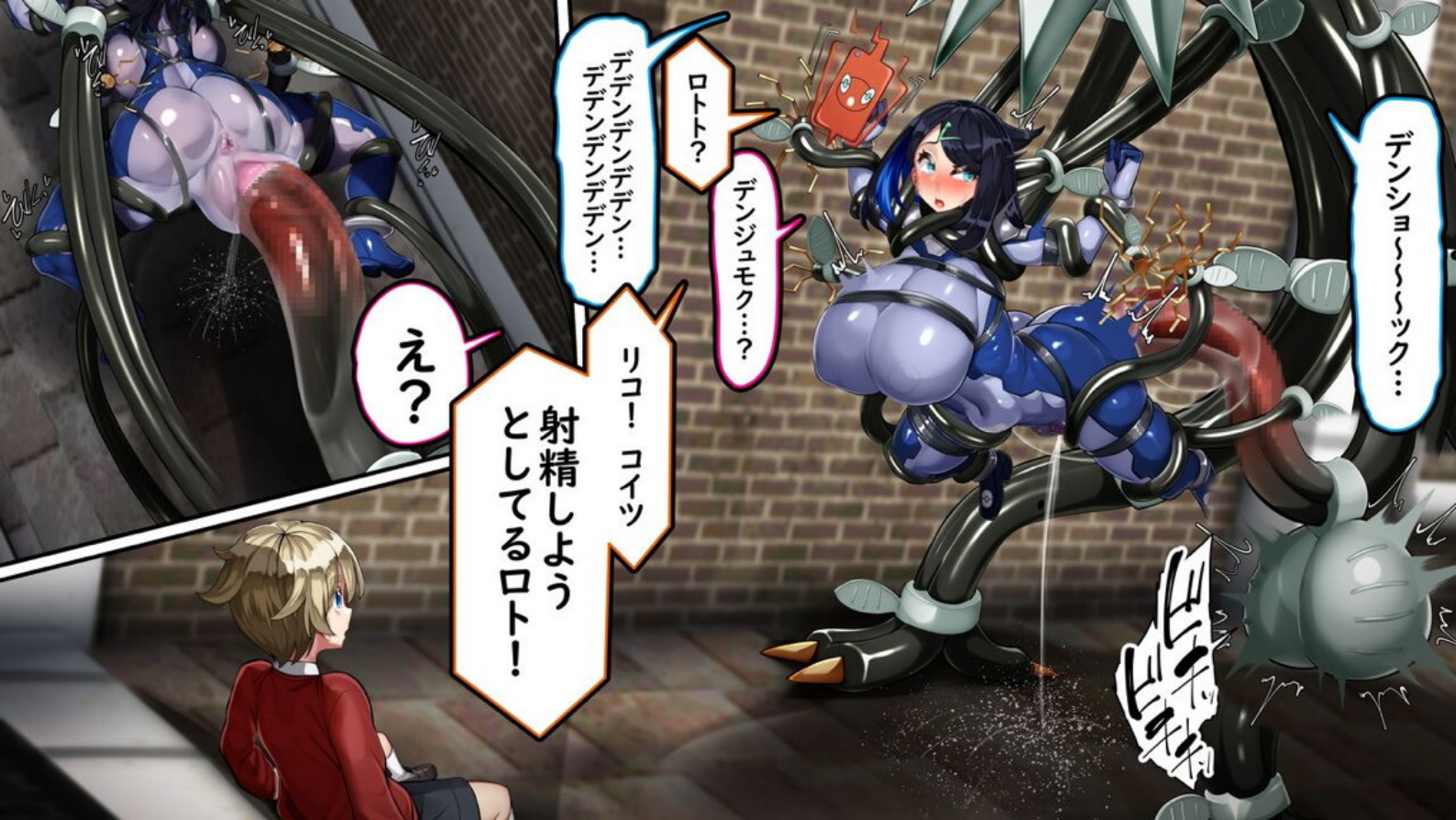
デンジユモク...?

デデンデンデデン...
デデンデンデデン...

リコ! コイツ

射精しよう
としてるロト!

え?





ショック!!

?!



膨らんでる!?

お姉ちゃんのお腹が...!?

お姉ちゃんのお腹が...!?

膨らんでる!?

膨らんでる!?

お腹が苦しい…
でも…こんなに出して
くれたってことは
射精
この子も気持ちよくなって
射精
くれてるってことだね…

私も嬉しくなっちゃう…♡
お腹も嬉しくて
悦んでる気がする…♡

これが…種付け
ポケモンの遺伝子…
お腹が苦しいのに
顔がニヤけちゃうよ♡

おははは



リコも性に興味を持ち始める年頃、オナニーぐらいならしたことがある。

イクという感覚も数回だが経験したことはある。

だが、今経験している快樂はオナニーとはレベルが違った。

実物の男性器で膣と子宮をほじくり返され、何度も潮を吹き、ついには精液という種を自分の畑である子宮に植え付けられる。しかも、腹が膨れるほどの量だ。

こんな快樂は人間同士のセックスでは絶対に味わえない。本来、一生味わうはずがない快樂だ。

そんな経験を、リコはまだ年端も行かぬ体と精神で味わったのだ。常人ならば脳が快樂を処理しきれず、理性が崩壊してもおかしくないだろう。

お下





デンシヨック!

デンジユモクう...♡
気持ちよかった...?

まだバツキバキに元気だね♡
いいよ いっぱいシよ?

たっはっはっ!
たっはっはっ!
たっはっはっ!

はっはっはっ!

はっはっはっ!

はっはっはっ!



ああ…
お姉ちゃんが…
壊れちゃうよ…



僕う…？

お姉え…ちゃんはあ♡

大丈夫…だよ♡

これは…ポケモン…との

スキンシップ…だからね♡

え…？

常人なら快樂墮ちしてははず
だが、リコは違った。

だから…僕も…
安心してね ♡

お姉ちゃん…

少年を怖がらせないため、
デンジモクを安心させるため。

すべてを包み込む慈愛の心が、
リコの理性をギリギリの
ところで取り留めたのだ。





この子…ね…
迷子みたいなんだ
キミも迷子になったら
怖くなっちゃうでしょ？

うん ボクも道に
迷っちゃったら怖いよ

だからお姉ちゃんは今
この子に「怖くないよ」って
慰めてあげてるの

そ…そうなの？

おっけい…

おっけい…

だから...キミも
この子が落ちて着くまで...

ちょっと...怖いかもだけど...
我慢...できるかな?

うん!
それぐらいなら
ボクもできるよ!

ボクもう怖くないよ!
本当に大変なのは
お姉ちゃんの方だもん!



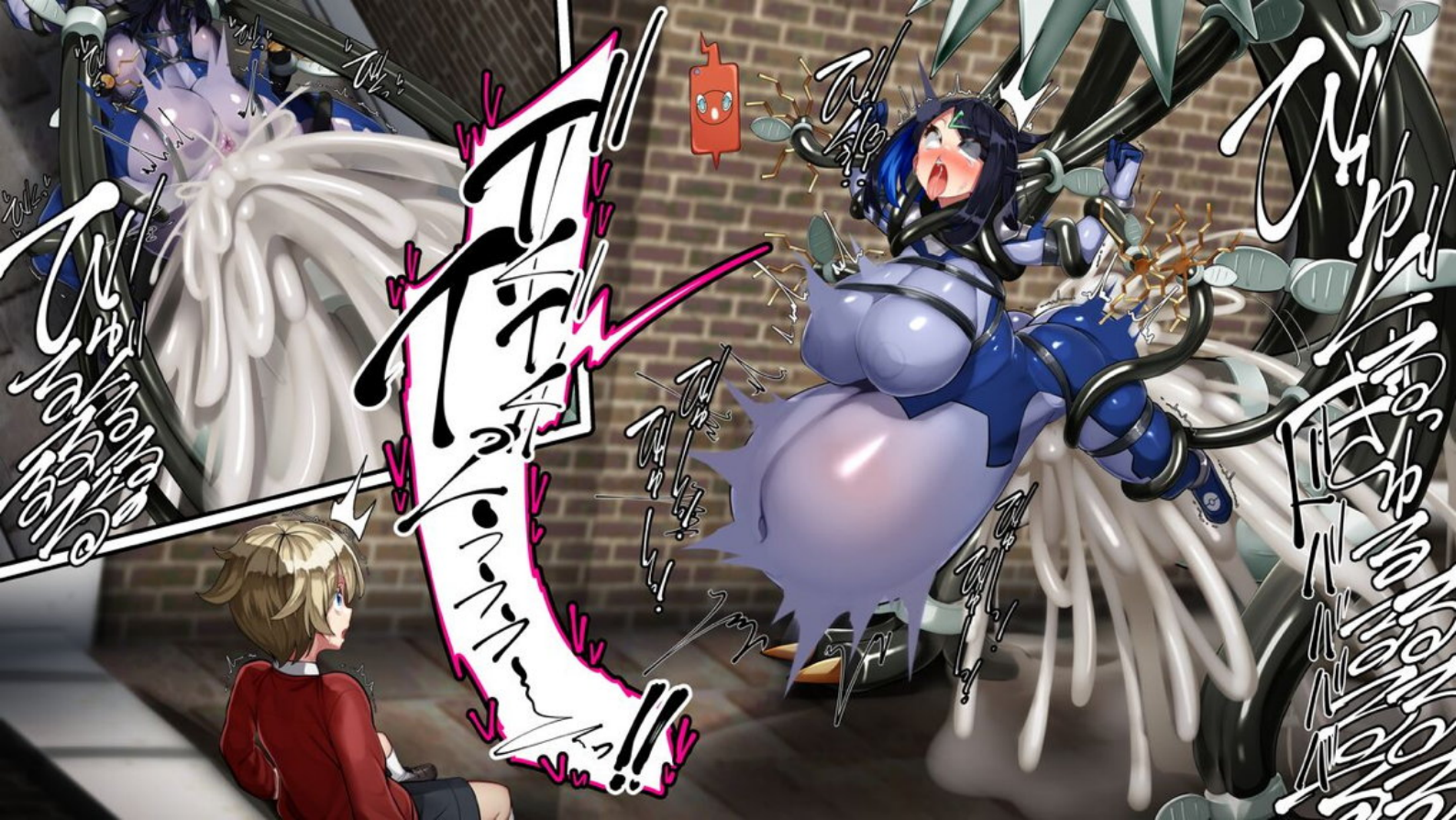
偉い偉い♥
男らしくくて
カッコイイぞ♥

えへへ

ア
!

4







おねえちゃん...
おねえちゃん...
おねえちゃん...

お...おねえちゃん...
がんばって!

ボ...ボク...信じてるよ!

え!?

お姉ちゃんのお胸が
お腹みたいに膨らんだ...!?

おねえちゃん...

おねえちゃん

おねえちゃん



デンジユモクう…
スッキリした？

デンシヨック！

まだまだ元気だね♡
もうちよつと出し出しシよっか♡

自分が犯されることでデンジユモクが
落ちていくならリコにとってはそれでいい。

デンジユモクは今、生存本能という衝動に駆られている。
この地で果てるのなら、せめて子孫を残したいという衝動に。
そんな彼を安心させてあげたい、リコの想いはその一心である。

突然知らない場所に連れて
こられてビックリしたんだよね？

デンシヨ〜〜ック…

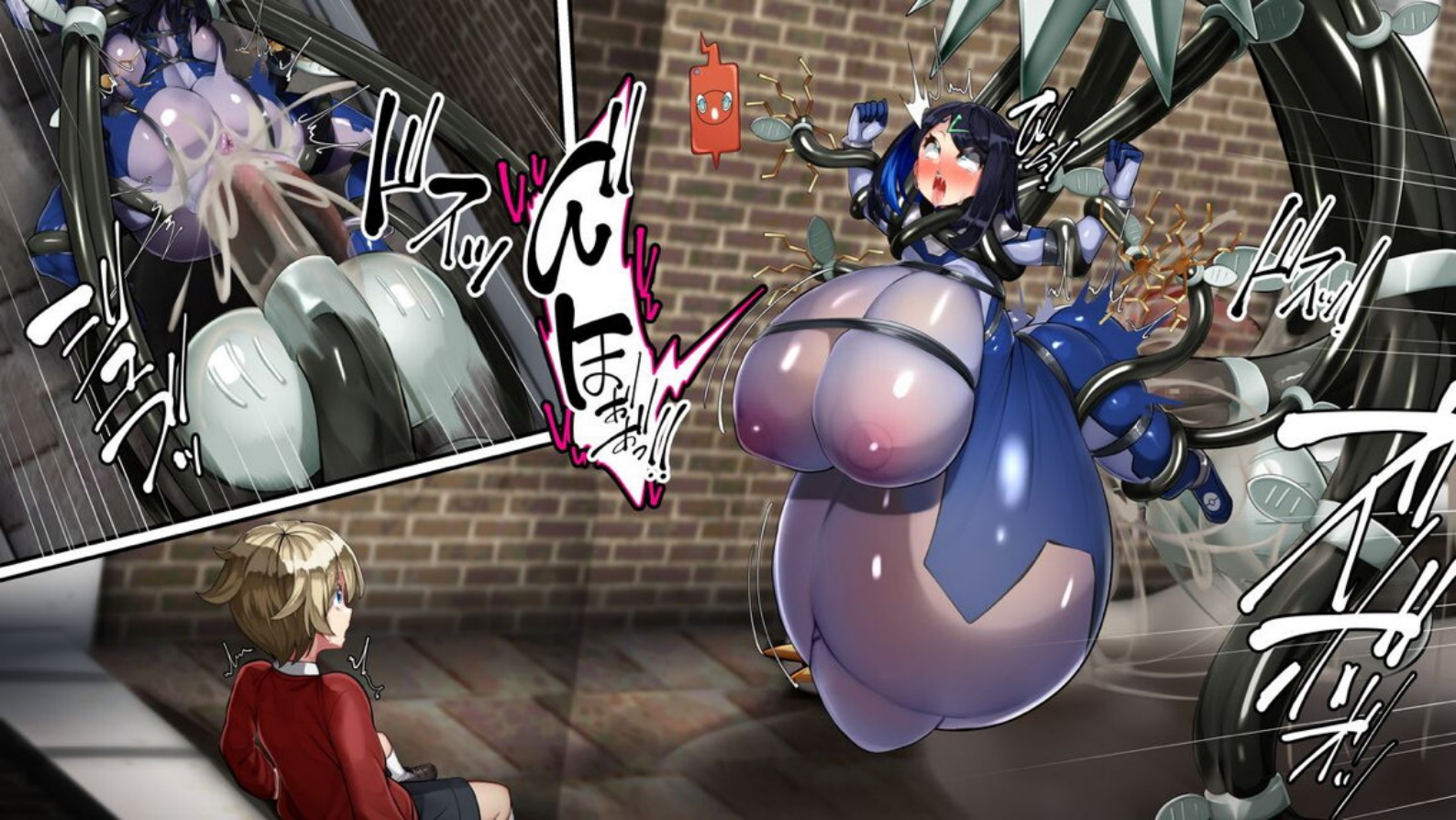
いいよ まずは君のおちんちんの
イライラをスッキリさせてあげるね♡

そのあと お家に帰る方法を
一緒に考えようね♡

お下

まるで泣いている子をあやす様な
話し方だが、会話の内容はメチャクチャだ。

リコにとっては自分が犯されていることは些細な事、
おしろ進んで自らの身体を捧げようとする。
ポケモンに優しすぎる女の子それがリコなのだ。

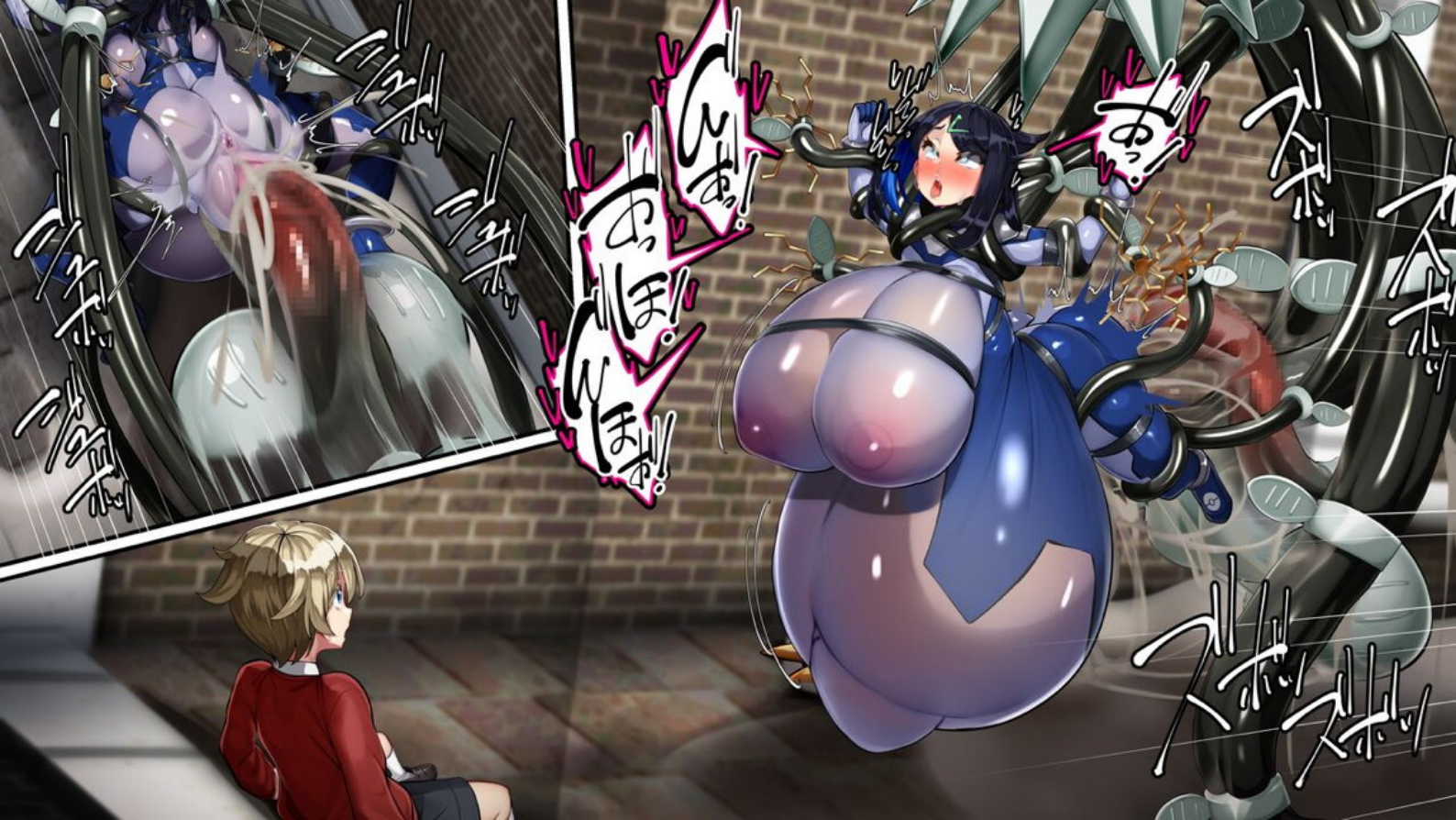


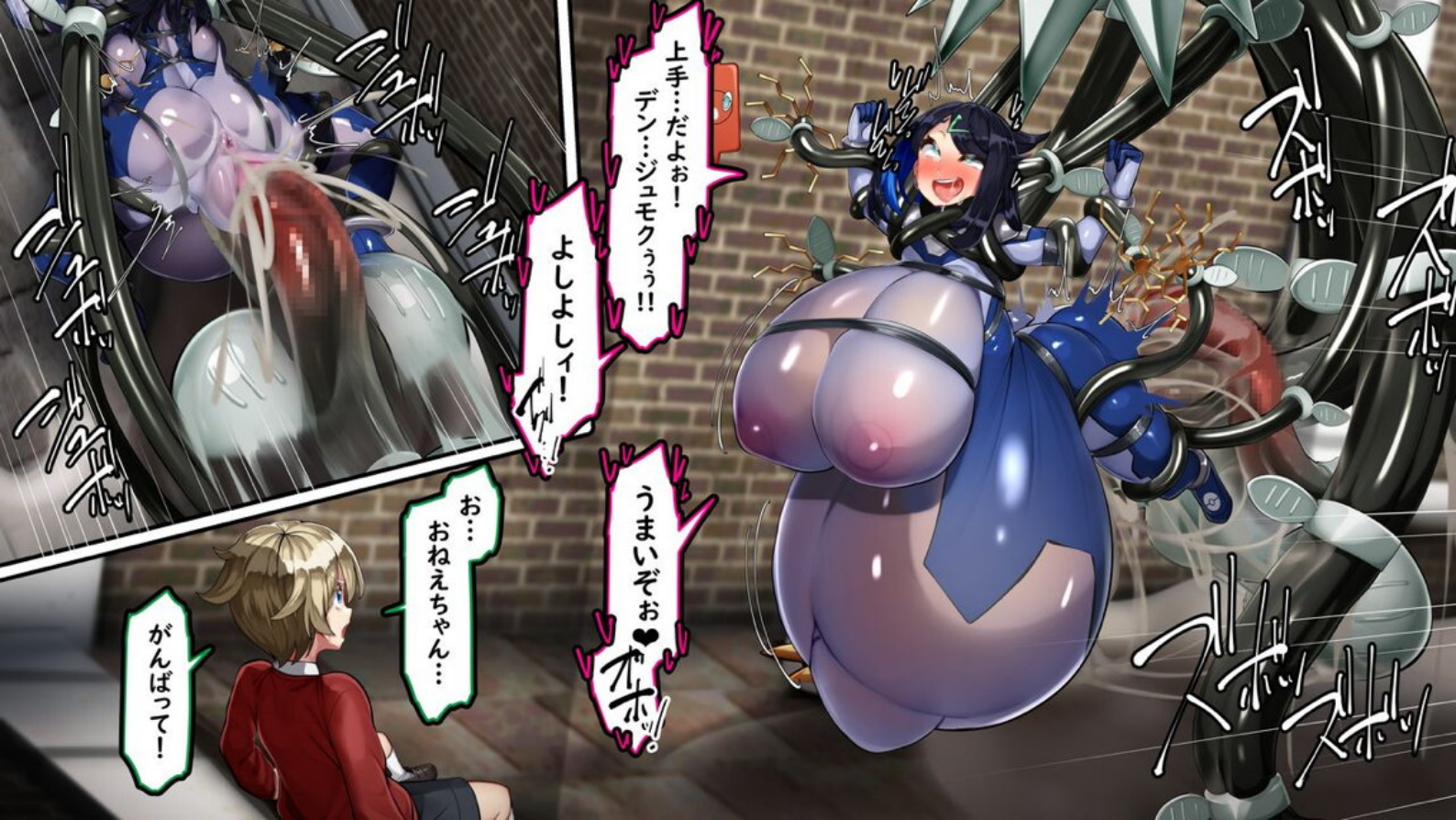


目一杯動きたいんだね?
いいよ♥ キミの好きに動いて

はあ...
はあ...

私...ちゃんと...
キミの...全部
受け止めるからね♥





上手…だよお!
デン…ジユモクうう!!

よしよしい!!

うまいぞお♡
ホホ!!

お…
おねえちゃん…

がんばって!



自分の欲望をどれだけぶつけても受け入れてくれる少女に、
デンジユモクは次第に絆されていく。

知らない世界に自分の居場所を見つけたようで、
デンジユモクから焦りの心が消えていく。





はあ...はあ...
こんなに本気で
子作りしてくれてる...

デンデンデン!
デンデンデン!

射精しそうなの?
いっよ ♡

出来ることなら...
本当に孕んであげたい...



孕みたい…!!!

孕んであげたいのに…!!!







私は産む気
満々なのにいゝ〜…

孕んであげたい…!
産んであげたい…!

おは

あハネネ

Hot

ハラム…?

う…産む!?



デンシヨック!



デンジユモクうう…
君も赤ちゃん欲しいよね?

え?
赤ちゃん…!?





こんなに一生懸命…っ
おんあ!
んあ!
子作りしてくれてるんだもん!



えーっ!?!
こ…子作り!?!





せっかく…
精子もお…

こんなにいっぱい！
出して…くれるのに！！

じゃあ僕も…
こうやって
生まれてきたの…？



へえ〜…
んへへえ〜…

精子くんたち…♡
孕んであげるからねえ…
私がママになってあげるから♡

わ…わ…

わ…わ…

わ…わ…

わ…わ…

わ…わ…

わ…わ…

わ…わ…

リコの底なしの包容力は
自分に注がれた精液にも向けられた。

当然、その中を泳ぐ精子にも
我が子のに対するような
愛情を抱き始めていた。

リコの卵子を求めて遅ぎまわる精子に、
庇護欲を覚えたのだ。



そして、その意識が、

リコの優しさが、

デンシヨツ〜〜ク!

来て…デンジモクウ!



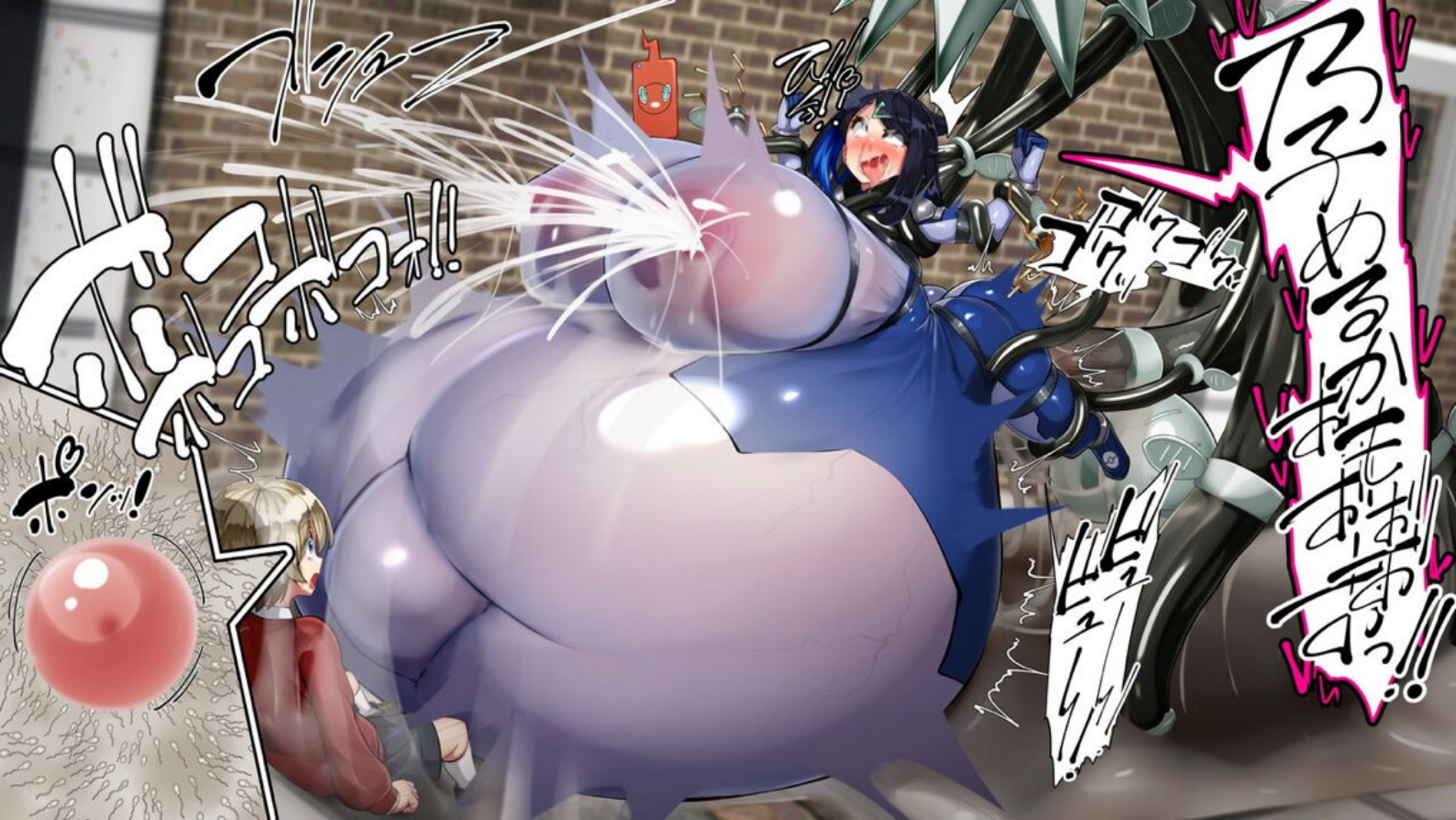
キミの赤ちゃん…

今なら…

今なら…!!

不可能を可能にした!







デンジモクもリコの期待に射精で応える！

お互いがお互いを支え合う。しかし夫婦というにはあまりに野性的、番いと言った方が適切だろう。

互いがそれを意識しているのか射精にも無駄がない。先ほどまでと違い、二人の結合部からは精液が溢れない。

全て、リコの子宮へと送り込む初めての共同作業、
ついには二人の命のバトンは一つへとつながった！



デキたよお…
デンジユモクう…

デンショック!

受精卵が…

お腹の中を漂って…





今の…チクツと
した感覚…

もしかして…
着床痛…!?

アッ!?

アッ!

アッ!

やっと一つになったね！
デンジュモク！

♥
キミはもう一人じゃないよ

安心してここに居て良いんだよ？

デ…デンシヨ…

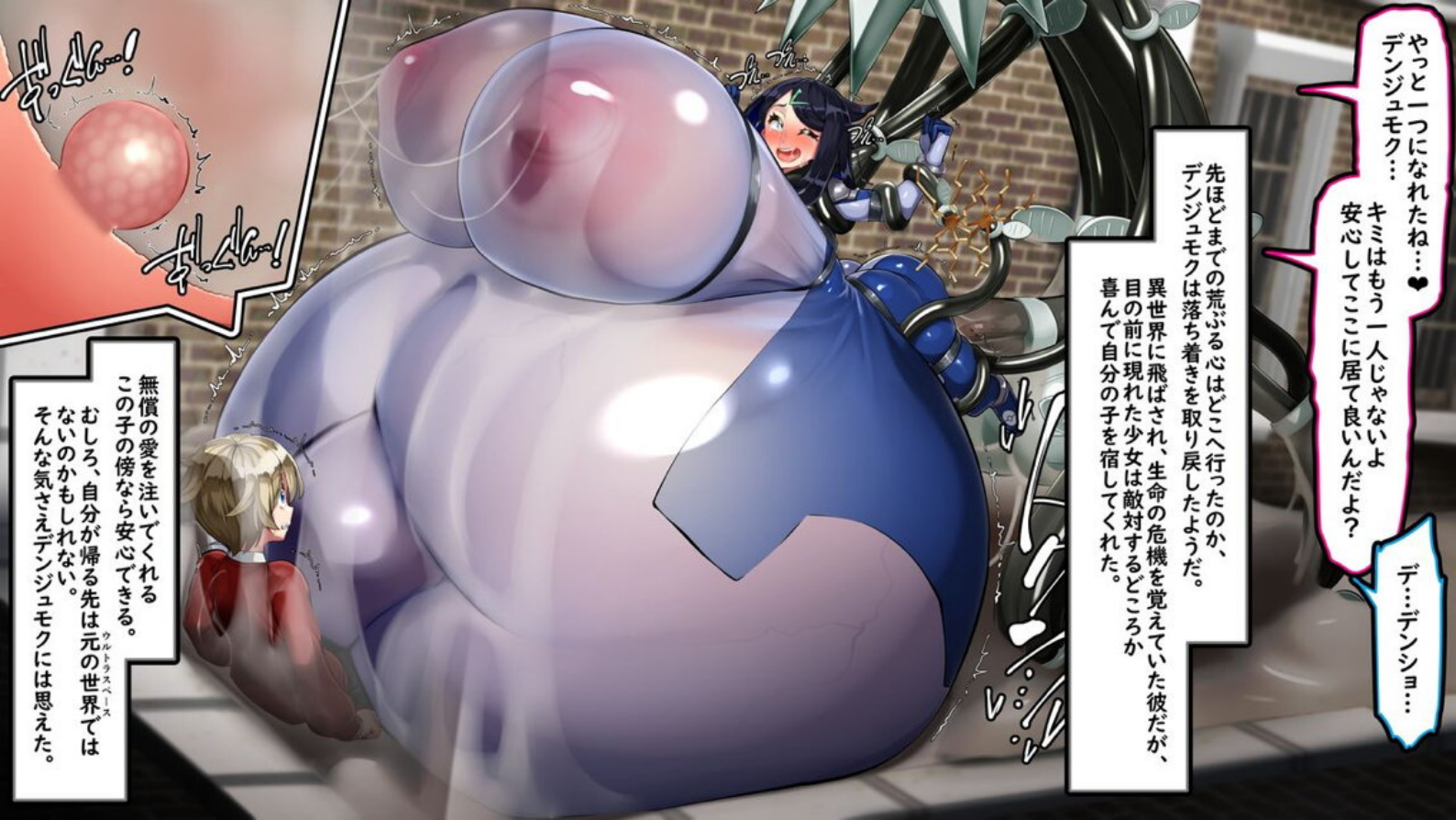
先ほどまでの荒ぶる心はどこへ行ったのか、
デンジュモクは落ち着きを取り戻したようだ。

異世界に飛ばされ、生命の危機を覚えていた彼だが、
目の前に現れた少女は敵対するどころか
喜んで自分の子を宿してくれた。

無償の愛を注いでくれる
この子の傍なら安心できる。

むしろ、自分が帰る先は元の世界では
ないのかもしれない。
そんな気さえデンジュモクには思えた。

ウルトラスペース



一方、リコはというと、デンジユモクを落ち着かせるのが目的だったはずだが、むしろ自分も安心を覚えていた。

なんだろう…
私もホッとしてる…

けど…一方で
ドキドキもしてる…
不思議…♥

フッフッフッ!

フッフッフッ!

それは「孕んであげたい」という
庇護欲が満たされたからか。

それとも、リコのメスとしての本能「孕みたい」という
繁殖欲が満たされたからだろうか。



お互い意思が通じる気がした。

デンシヨック…

デンジユモク…

フッブッ…
フッブッ…
フッブッ…

フッブッ…
フッブッ…
フッブッ…

繋がっている性器から、
互いの意思が流れ込んでくる気がした。

どちらにせよ、晴れて番いとして
結ばれた二匹はまだまだ繁殖期のようなだ。



サカリのついた繁殖期の雄と雌が
たった一回の受精で満足するはずがなかった。

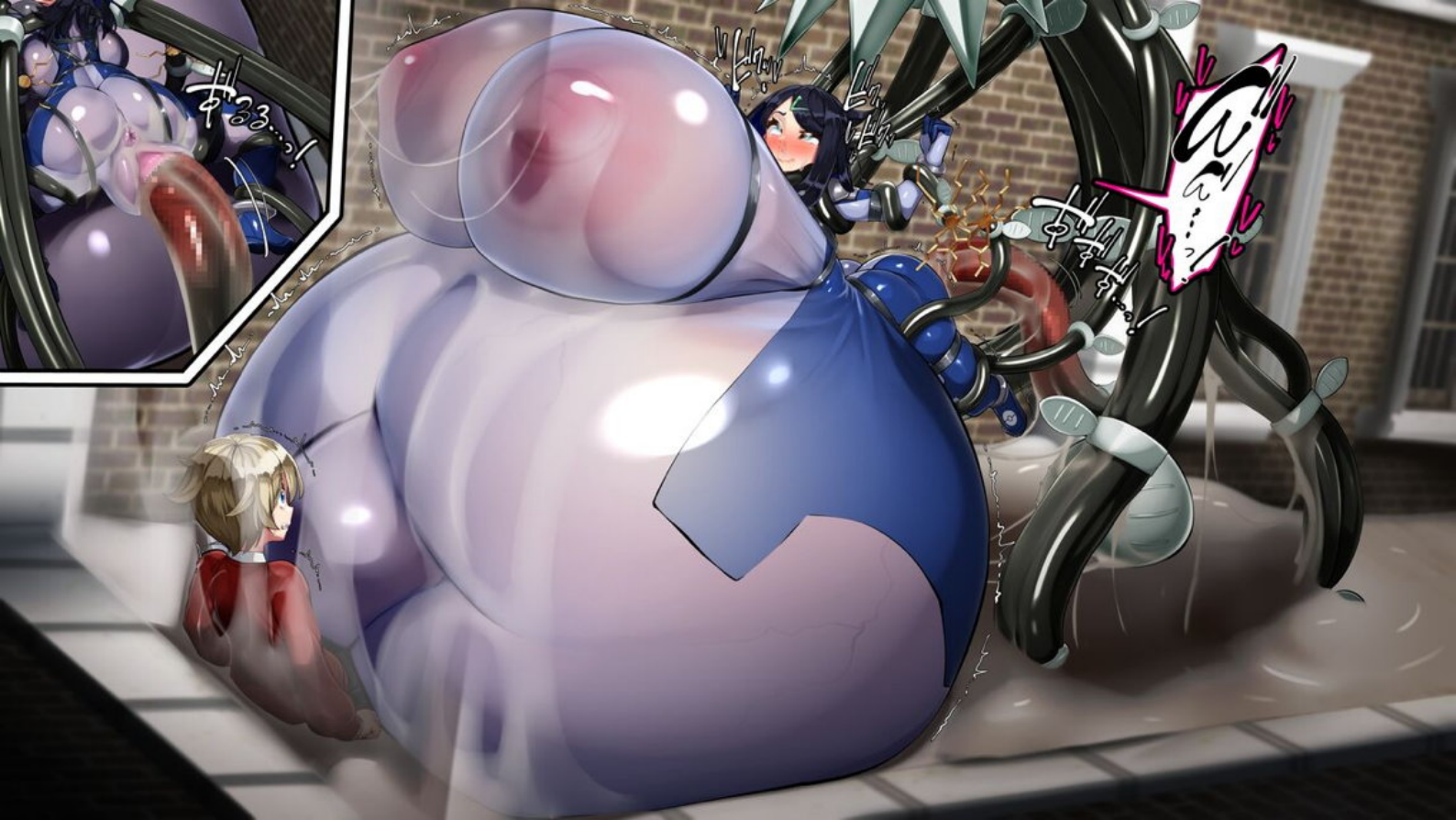
デデンデン！

もっと…欲しいよ…

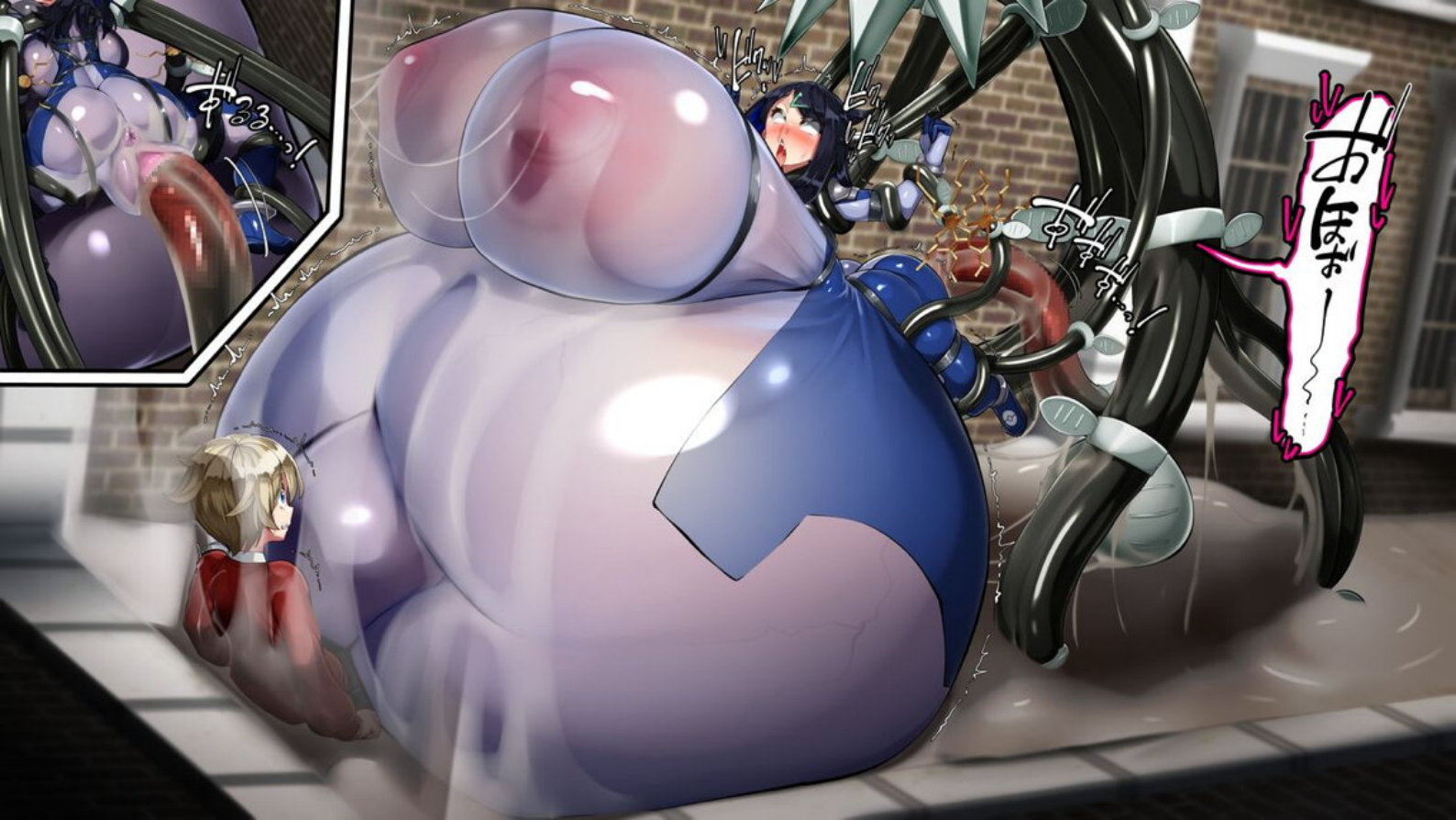
For You!
For You!
For You!

For You!
For You!
For You!











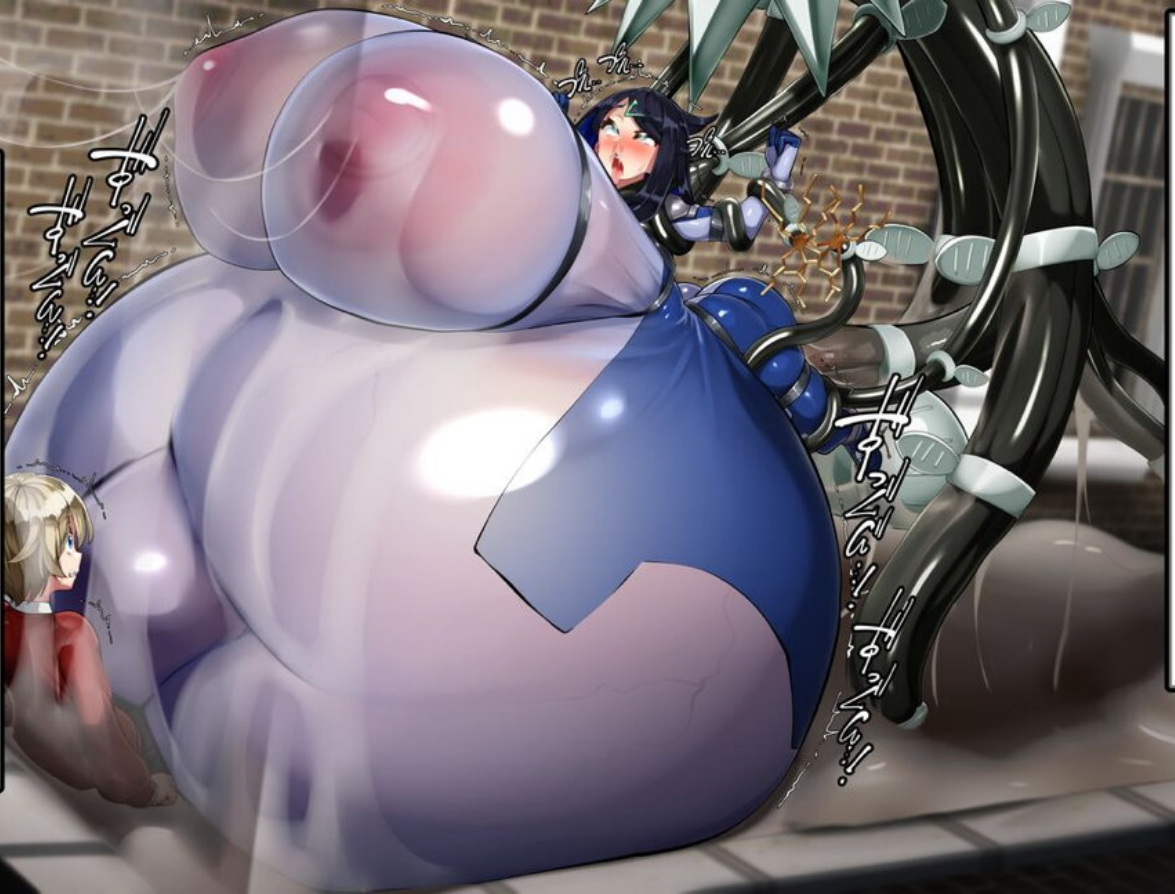
余計な言葉はいらない、
オスはメスの体に無心となり、
オスのリードに合わせてメスは本能のまま喘ぐ。

リコという年端も行かぬ少女が
出しているとは思えない濁音混じりのメス声。



デンジユモクと出会ってからのわずかな時間で、
彼女は少女からメスへとなり、孕むべき瞬間を悟ったのだ。

一方、デンジユモク。
ウルトラスペースから飛来した際は、
彼も戸惑いから正気を失っていたが、
リコと出会ったことで彼の人生は大きく変わった。



混乱している自分を安心させるためだけに、
犯されることも厭わない献身的な
少女と出会ってしまったからだ。

もはや、今のデンジユモクには
元の世界に帰りたいという意志すらないだろう。

デンシヨック…!

が…デンジユモクはただの射精で
終わらせる気はなかった。

デンジユモク？



デンジユモクのペニスは細いコード状の
触手が束になることでその形を形成している。

デンジユモクはそのうち一本を
リコの胎内へと伸ばしていく。



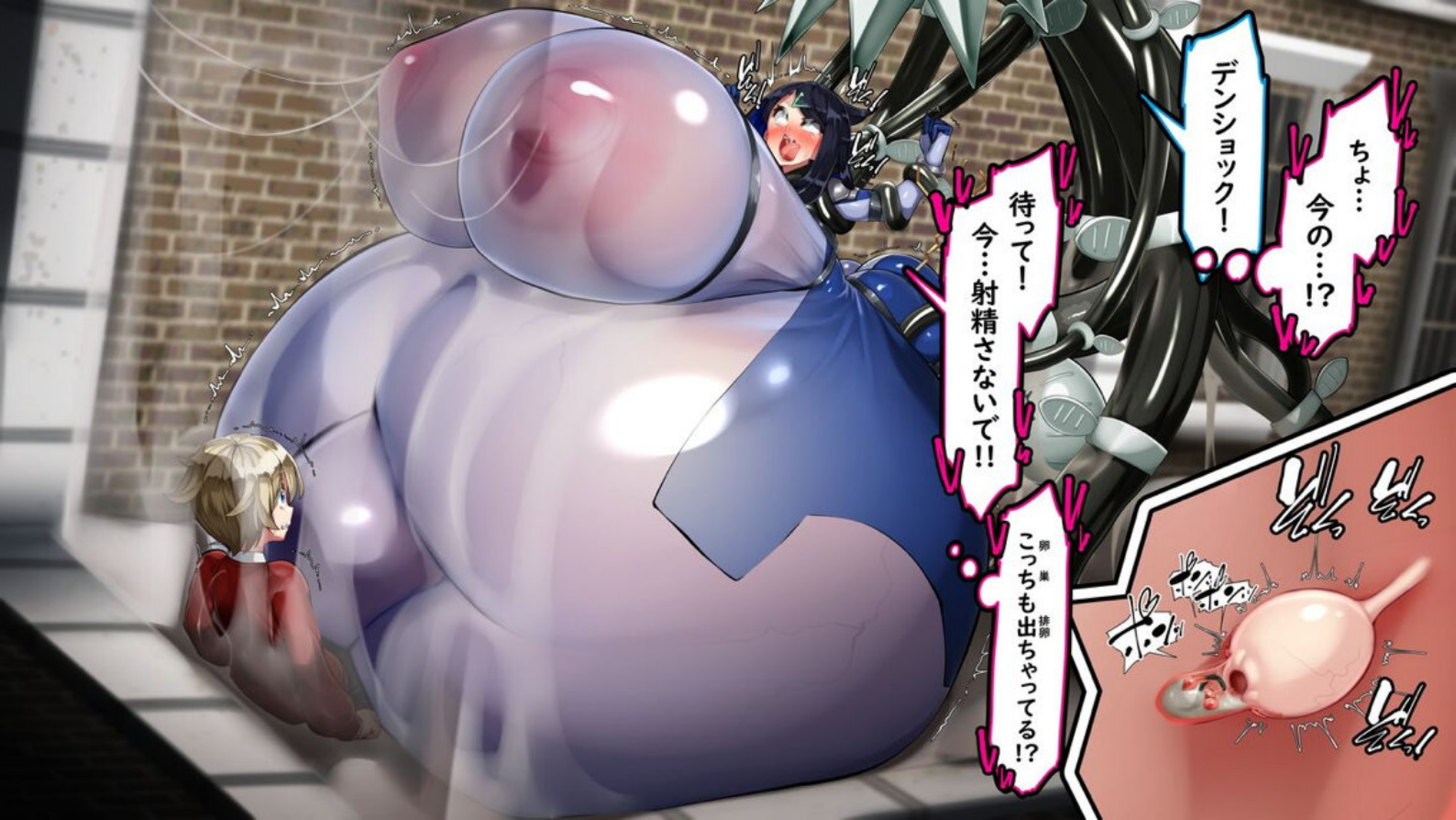


なに...?
お腹の奥が
こそばゆい...?

触手が目指す先、それは卵巣。







デンシヨック!

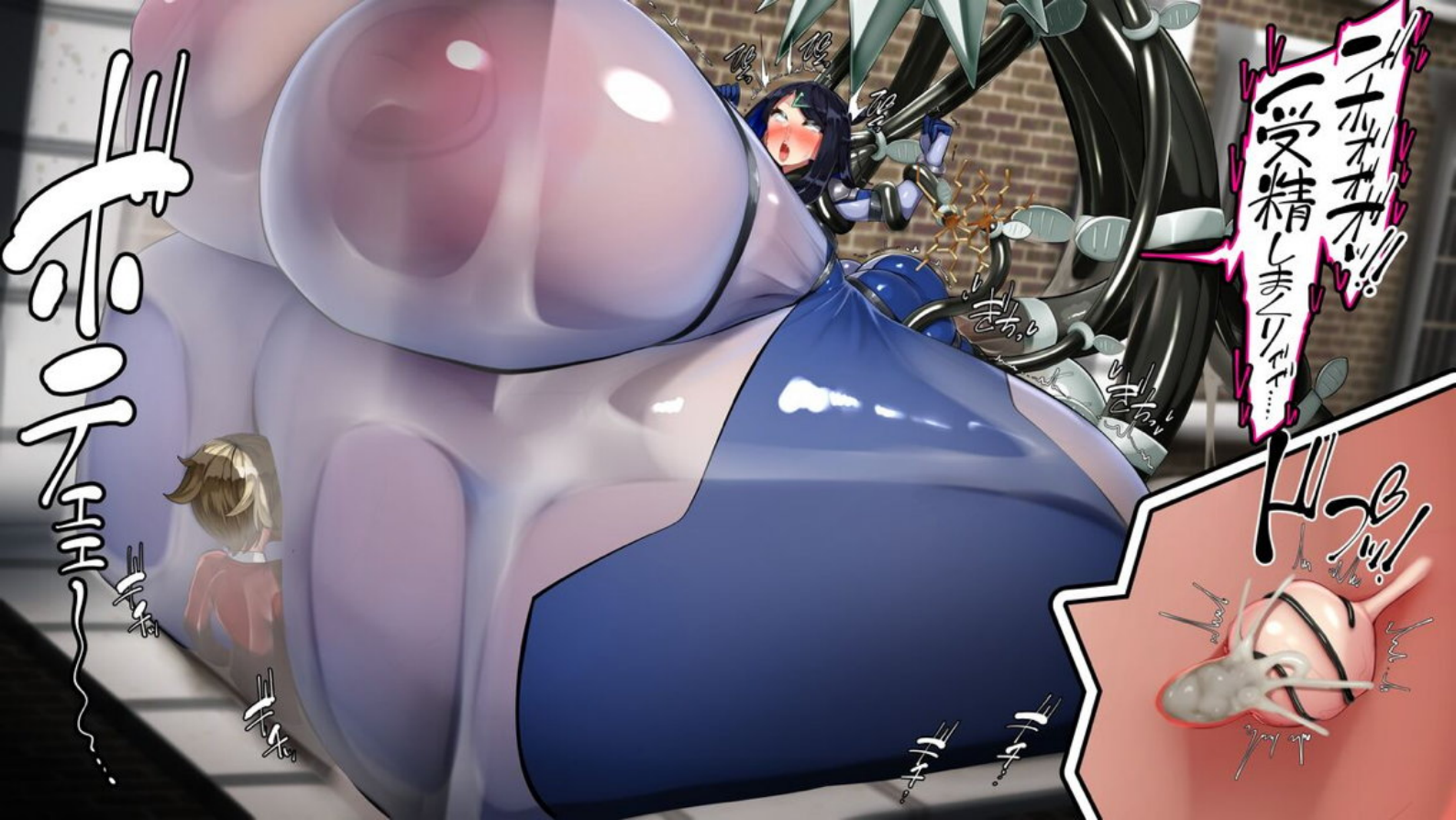
ちょ…

今の…!?

待って!
今…射精さないで!!

卵巣 挿入
こっちも出ちやってる!?

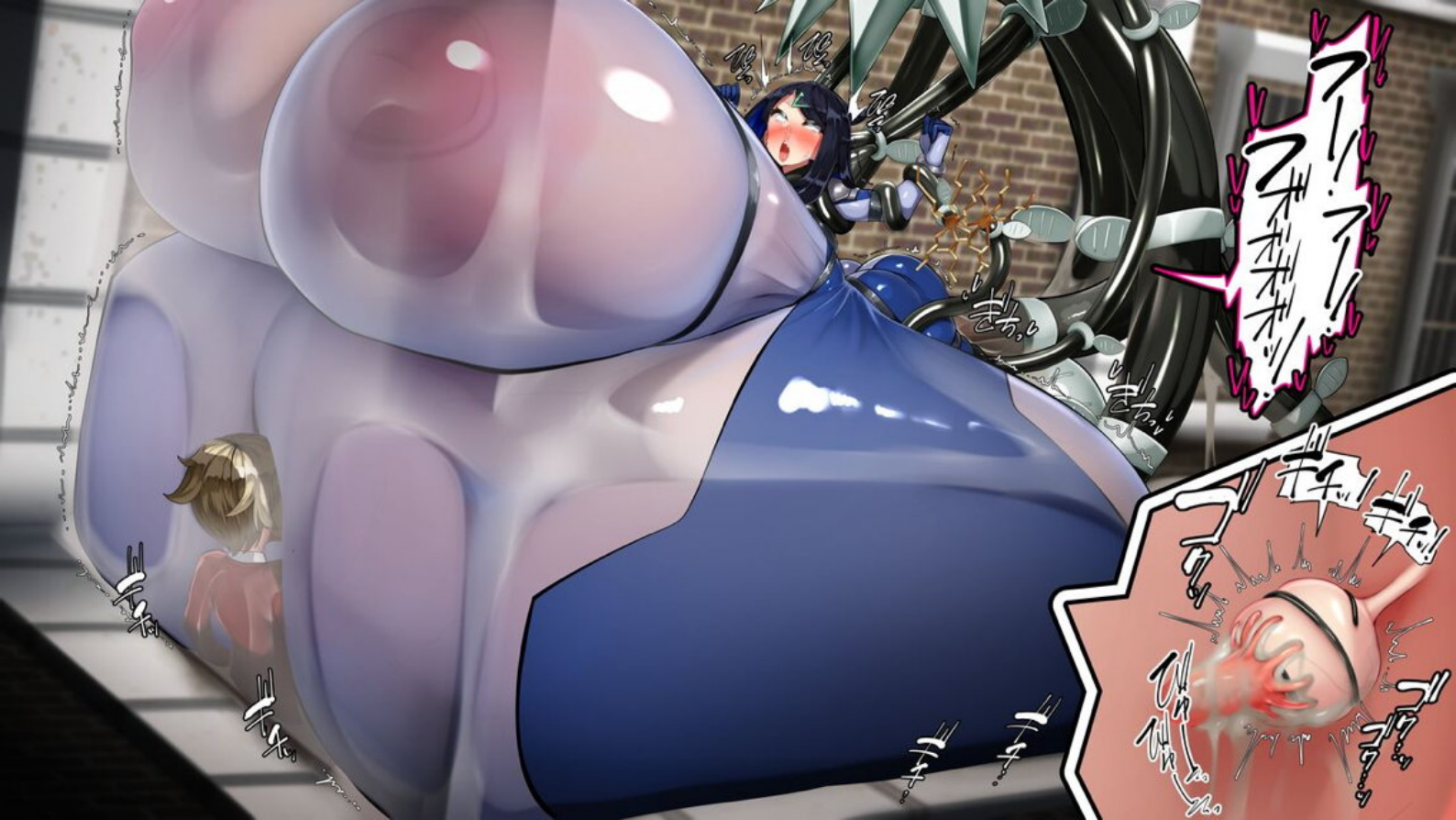




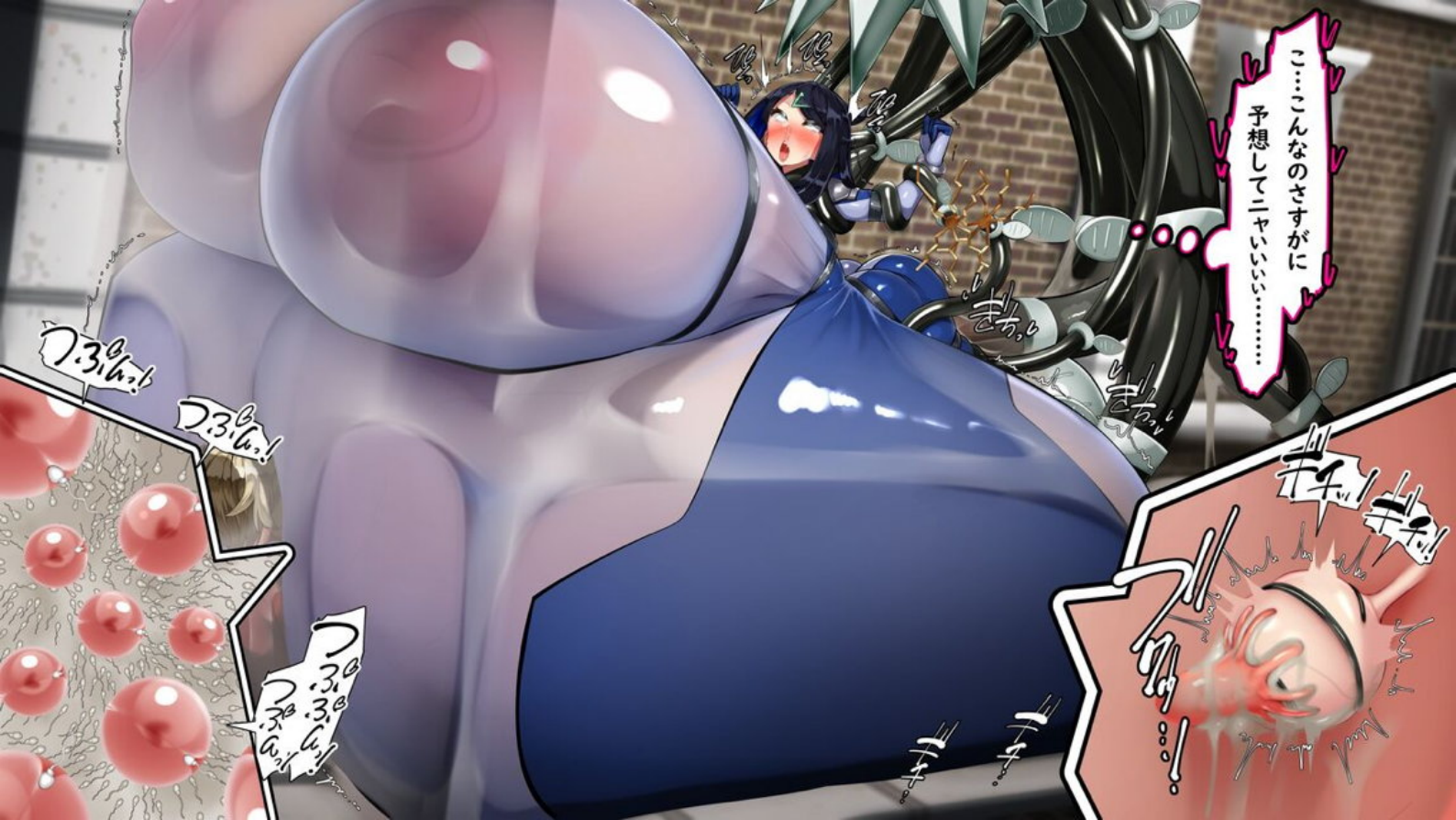
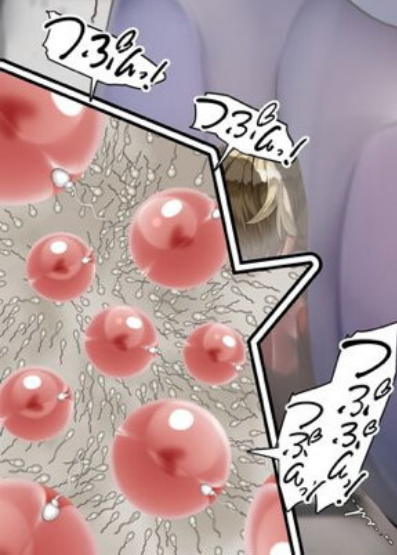
ゴキウ

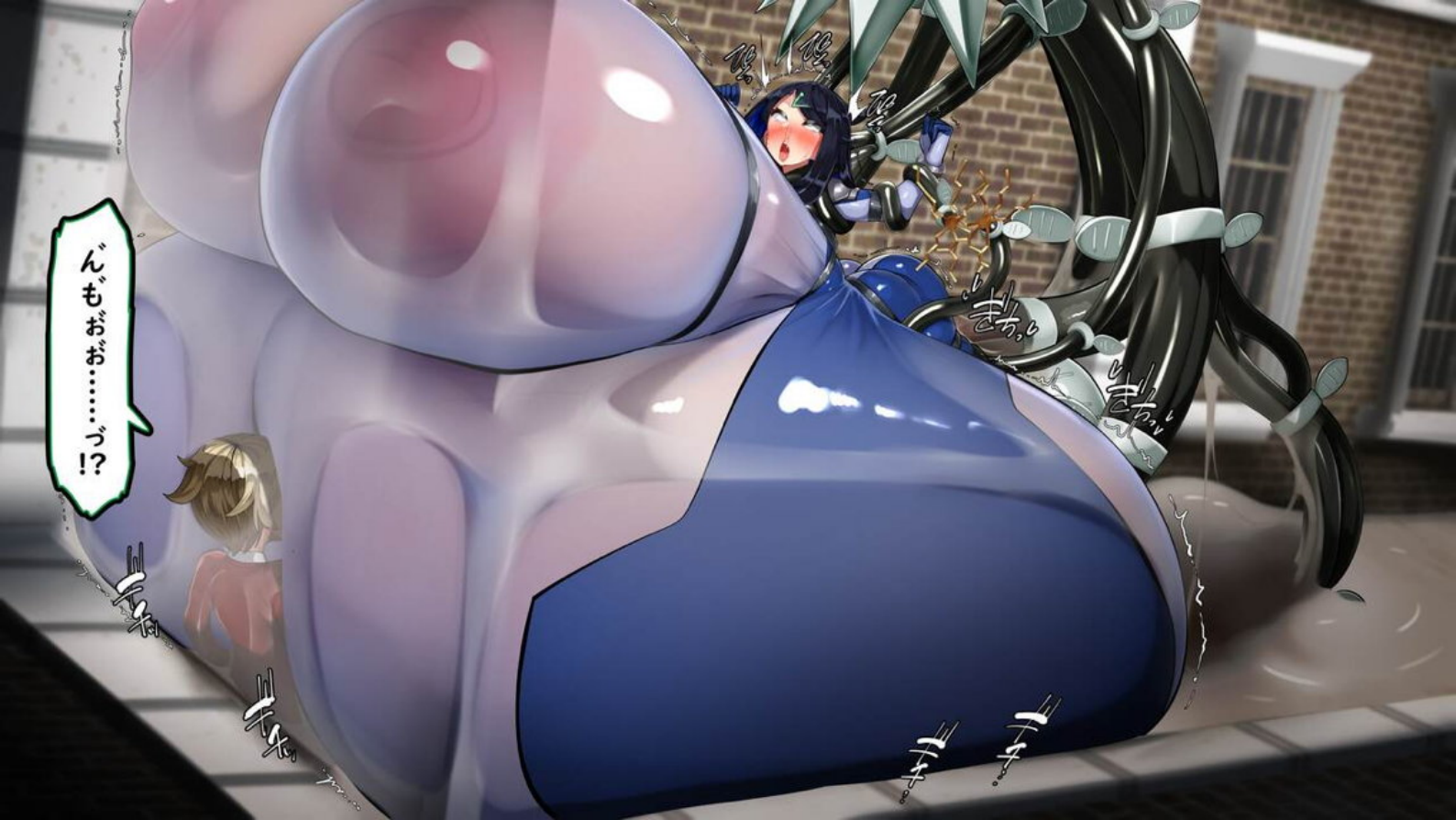
受精し美りん...

ゴキウ!



こ...こんなのさすがに
予想してニヤニヤ.....





んもおおお……じっ!?

© 2010 Square Enix. All rights reserved.

おはよう!



おはよう!

♪

♪

お…おねえちゃんに
押しつぶされるかと思ったよ…

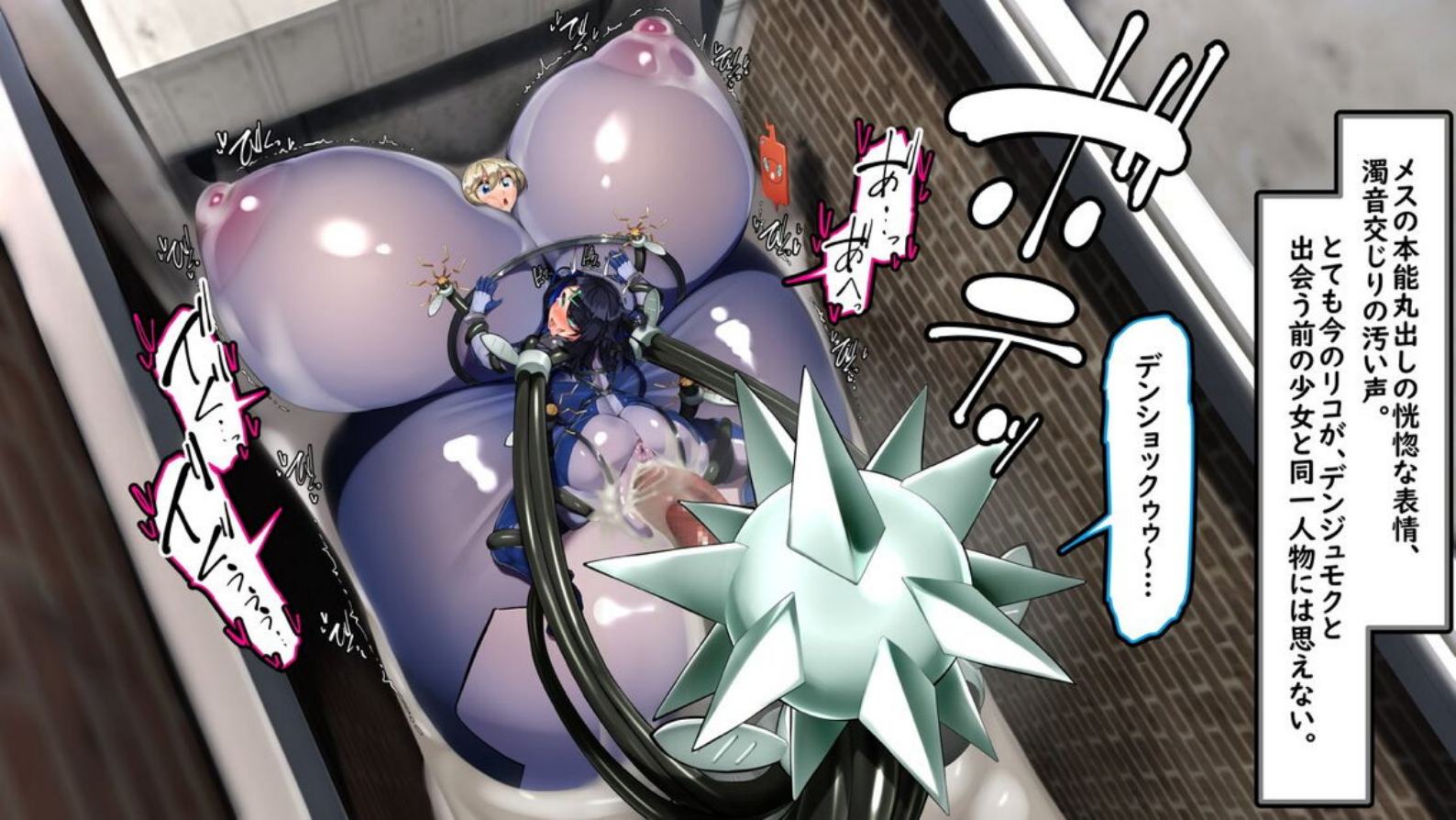
ふう…

めへええ〜…



メスの本能丸出しの恍惚な表情、
濁音交じりの汚い声。
とても今のリコが、デンジユモクと
出会う前の少女と同一人物には思えない。

デンシヨックウウ〜…

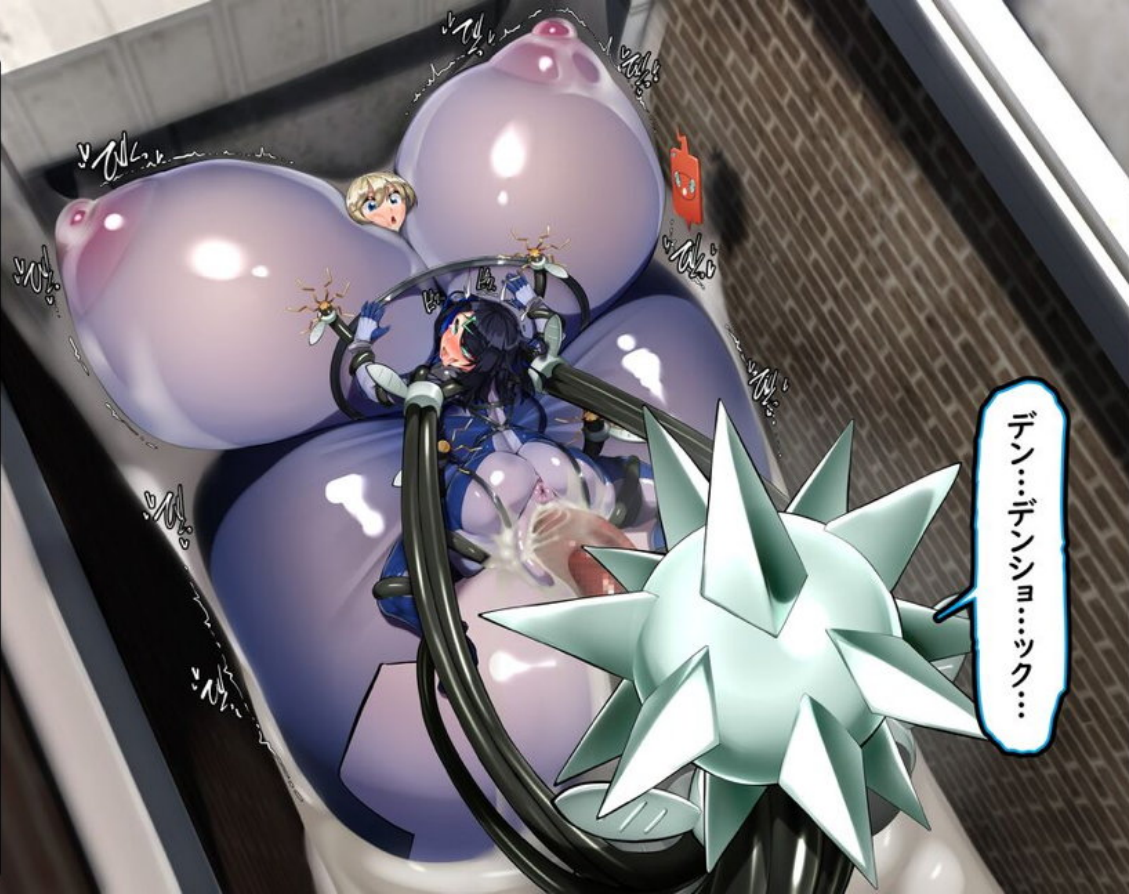


リコは体力が尽きたように、
自らのお腹の上で伸びてしまう。

体力の限界はリコだけではなかった。
デンジュモクも力の限りを尽くして
リコに子孫を残したのだ。

デン…デンシヨ…ック…

ポケモンは体力が尽きるとお決まりの行動をとる。
それはウルトラビーストのデンジュモクも例外ではない。





え?

Eh!!

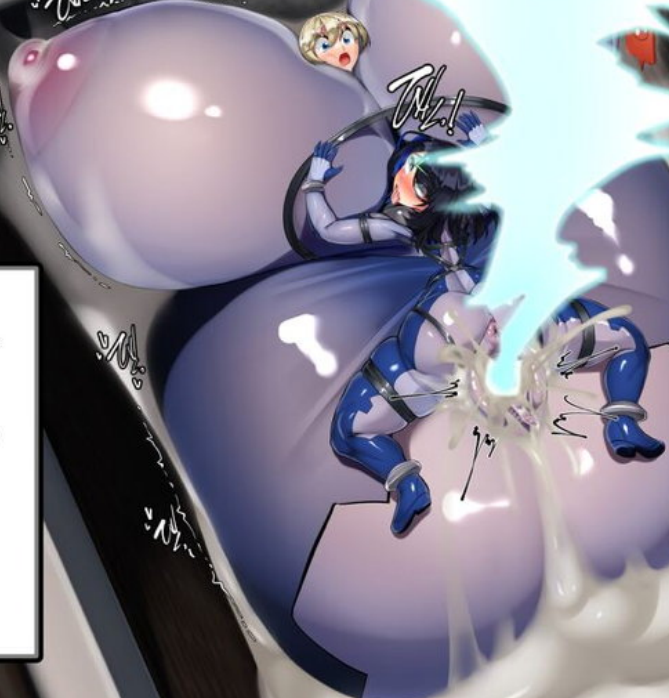
力尽きたポケモンは...

体を光らせ…

フクスイスイ



体を小さくし



狭い所に隠れ



体を休める


この習性を利用したのが
モンスターボールである。

やったロトーツ！
デンジュモクを
ゲットしたロトーツ！



え？
私自分の子宮で
ポケモンゲットしちゃったの!?

ほ!?!
ほ!?!



お姉ちゃん…
大丈夫なの…!?

うん…

お姉ちゃんは
大丈夫だよ…

スーツのおかげで
こんな体でも平気みたい…

今のポケモン…
どこに行っちゃったの？

え…えっと…
お家に帰っちゃった…のかな？

ひえ〜私もよくわかんないよ〜
子宮でゲットするなんて〜

ある意味ウルトラホールに
帰って行ったロト!

ある意味?

ま...まあ...
一件落着ってことで

ん?
おまんこに異物感が...
え...まさか!





お姉ちゃん!?

ナニロト!?

アッ!

う...産まれりゆ!

アッ!



えーっ!?

おっ!?!

おっ!?!




何これ…!?
ポケモンのタマゴ…!?

リコ!すごいロト!
デンジユモクのタマゴロト!

これ…私のタマゴ…!?
ホントに産んじやった…!?



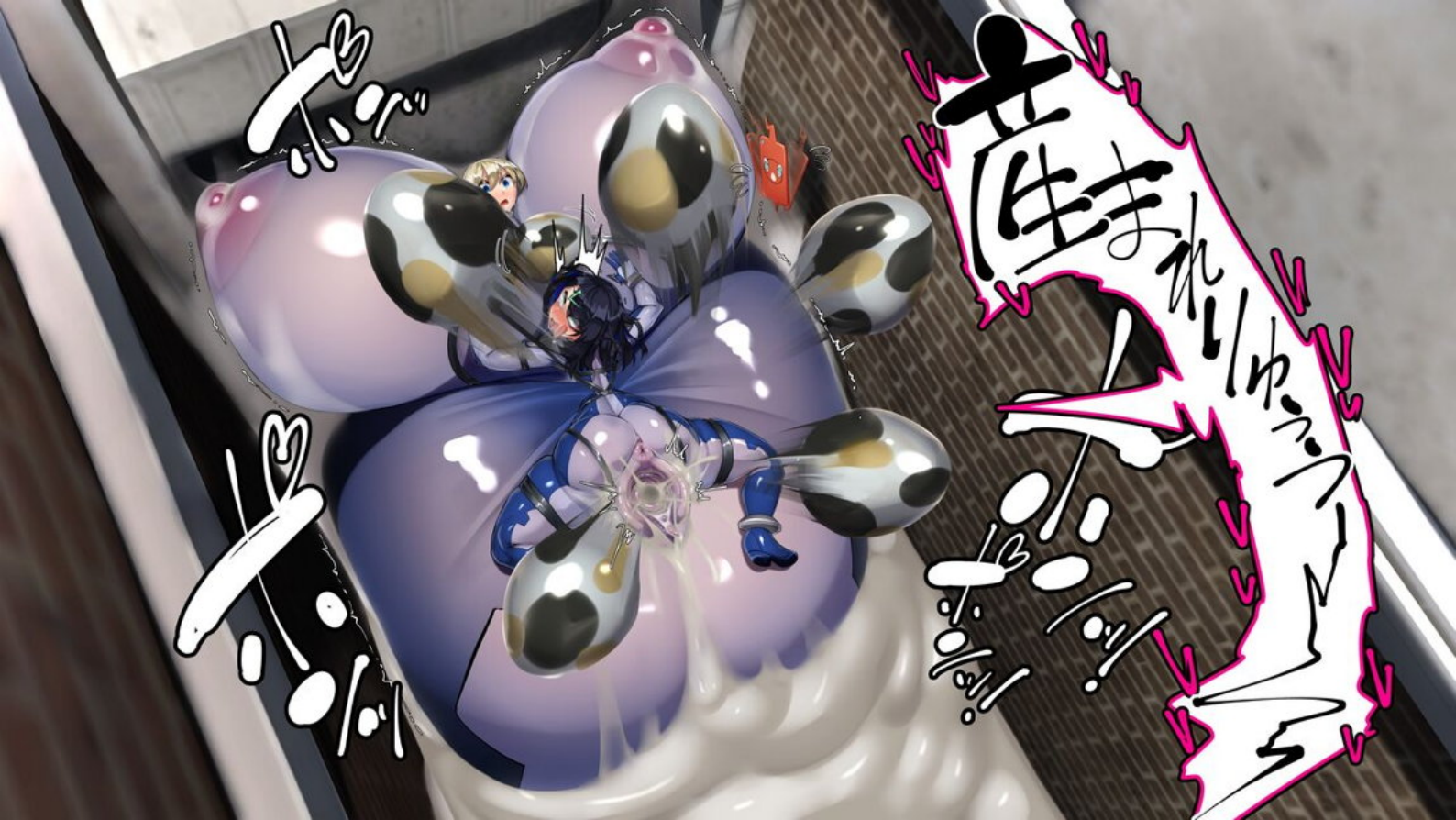


さっきお姉ちゃんが
やったのって…
エッチの正体って…

そこから先は考えちゃダメロト!

キミにはまだ早いロト!

ヤバイ…また!






これって...これって...

ごめんね 僕...

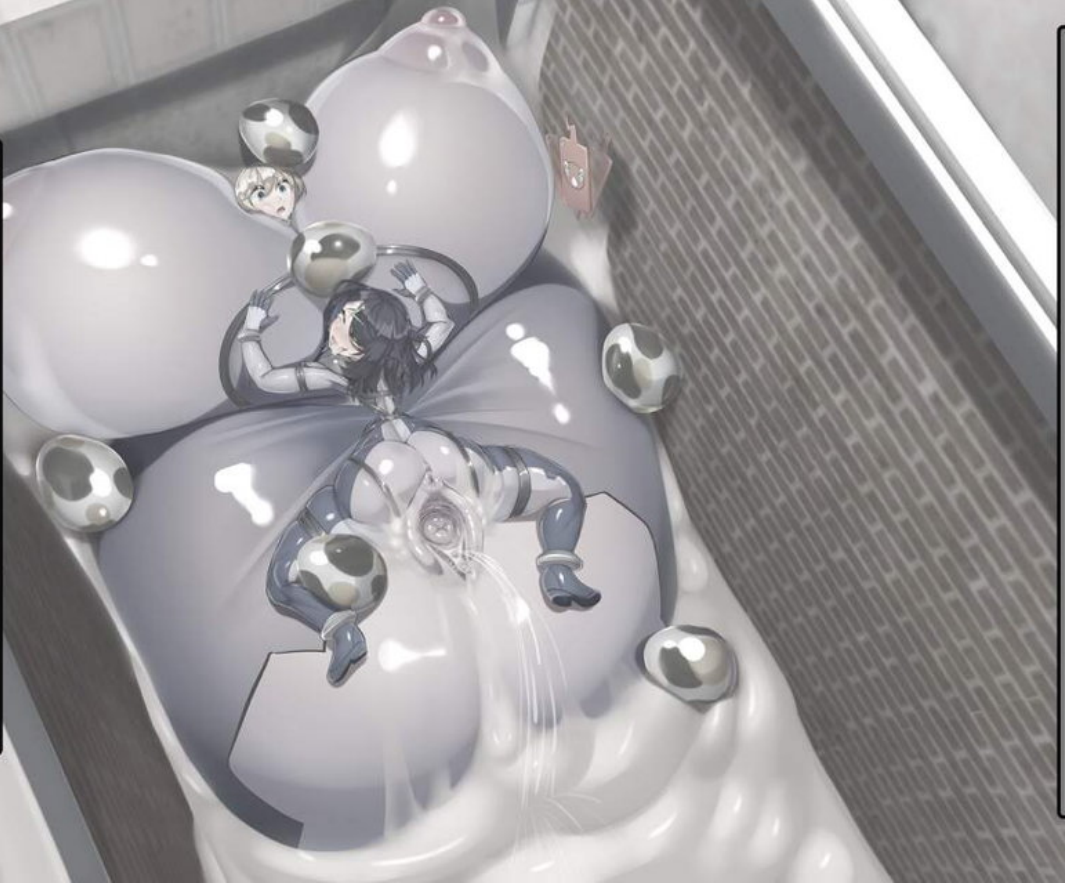
こんな小さな子に
汚い現実教えちゃった...



それはともかく…
何でこんなに幸せなのお…

Thank you ~~~~~

こうして、リコは少年もデンジユモクも傷つけることなく(?)事態を終息に導いたのだった。



しかも、ウルトラビーストの繁殖という。史上類を見ない偉業も果たした。

ブリッダーとして誇らしい限りだが、それ以上にメスとしてリコは満たされていた。

膨らんだ腹の所為か、視覚的にも
リコの母性は増したように見える。

数日後、そこには以前とは
少し違うリコの姿があった。

ガニッ

タタタ

タタタ

タタタ
タタタ
タタタ

タタ

タタ

タタ

んんんん
んんんん
んんんん
んんんん



見た目だけではない。

あの日以来、リコは自分の才能を活かした
ポケモン保護活動に勤しんでいた。

私はポケモンのママ〜♪

繁殖したい子はどここだ？

持ち前の底なしな優しさと、
ポケモンを産める体質。

この二つの個性を活かし、
数の減っているポケモンの繁殖や、
先日のデンジュモクのように荒ぶる
ポケモンを鎮める任務に就いているのだ。





リコすげーロトー！
「ポケモンの母」ロトー！
いつか凄い出世しそーうロトー！

も〜！
ほめ殺ししないでよ〜



たか
たか
たか

たか
たか

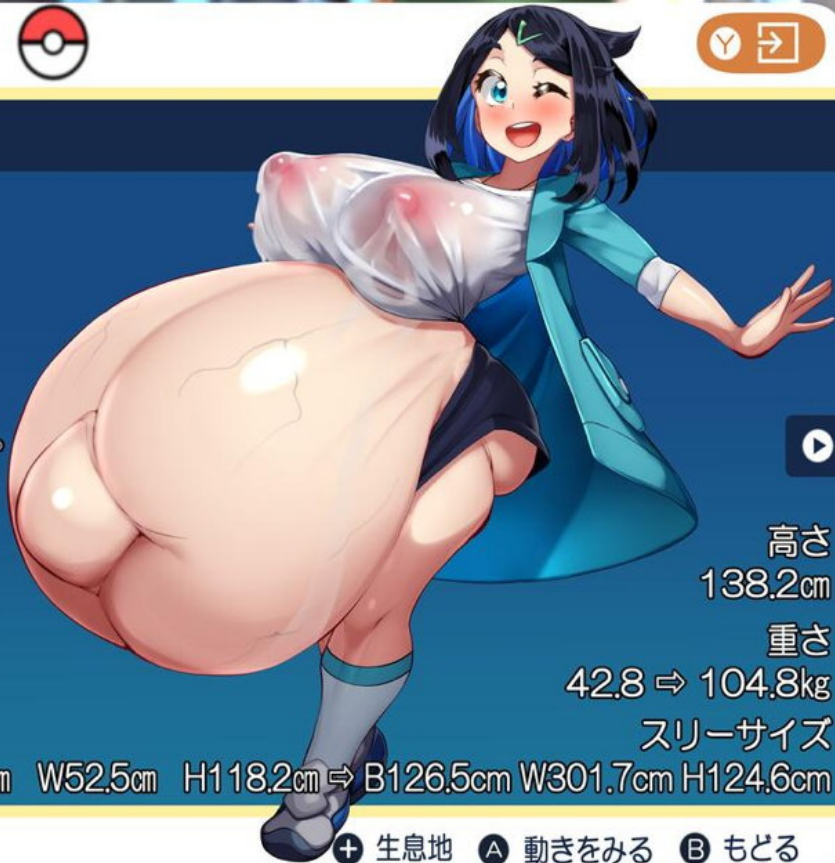
たか
たか



リコ (ぼてばらのすがた)

ママポケモン

ポケモンと交わる事で、母性を強めたリコの新しい姿。
《ポテルス》の活性化でメタモンの様に孕む事が
可能となり、一度に複数のタマゴを産める。
彼女の母性は聖母のように、
全てのポケモンに平等に与えられる。



高さ
138.2cm

重さ
42.8 ⇨ 104.8kg

スリーサイズ

B106.1cm W52.5cm H118.2cm ⇨ B126.5cm W301.7cm H124.6cm

+ 生息地 A 動きをみる B もどる

ロトロトロ!!
付近にウルトラホール発生の
兆候を確認したロト!

むむ!
私の出番だね!

今回もエッチで慰めちゃうぞーっ!

今日もたくさん産むロト!

終
制作・著作
かわはぎ亭







